

基本計画書(共同学科等)

事項		記入欄															
計画の区分	研究科の専攻の設置																
構成大学の設置者	国立大学法人東京農工大学	国立大学法人 岩手大学															
構成大学の名称	東京農工大学大学院	岩手大学大学院															
構成大学の本部の位置	東京都府中市晴見町三丁目8番1号	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号															
共同学科等の名称	共同獣医学専攻(Cooperative Division of Veterinary Sciences)																
共同学科等の目的	共同獣医学専攻は、両大学の強みを活かすことで、動物基礎医学、獣医衛生科学及び獣医臨床科学領域における国際通用性を備え、社会を先導する博士人材を養成し、東日本地域における食品の生産と消費、安全安心、家畜衛生・公衆衛生の面など、地域社会の人材を養成する。																
共同学科等の概要	入学定員 10 編入学定員 - 収容定員 40	入学定員 5	編入学定員 -	収容定員 20	/					入学定員	編入学定員	収容定員	/				
										入学定員	編入学定員	収容定員			講義(合計)	演習(合計)	実験・演習(合計)
学 位	博士(獣医学) (Doctor of Philosophy)																
開設時期及び開設年次	平成30年4月 第1年次																
教 育 課 程 (各構成大学が開設する授業科目数)	講義	16科目	17科目	0科目	0科目	16科目	0科目	33科目	16科目	0科目	32科目	講義(合計)	演習(合計)	実験・演習(合計)	科目	科目	科目
	専任教授	9人(14)	5人(5)	1人(1)	29人(31)	0人(0)	13人(14)	6人(6)	3人(3)	13人(14)	0人(0)	3人(3)	教授	准教授	講師	助手	兼任
教員組織の概要	専任教授	14人(14)	5人(5)	1人(1)	29人(31)	0人(0)	13人(14)	6人(6)	3人(3)	13人(14)	0人(0)	3人(3)	教授	准教授	講師	助手	兼任
	研究指導教員等	9人(14)	5人(5)	1人(1)	29人(31)	0人(0)	13人(14)	6人(6)	3人(3)	13人(14)	0人(0)	3人(3)	教授	准教授	講師	助手	兼任
職 種	専任	157人(157)	60人(60)	7人(7)	0人(0)	168人(168)	182人(182)	325人(325)	182人(182)	73人(73)	290人(290)	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
	研究指導教員等	9人(14)	5人(5)	1人(1)	29人(31)	0人(0)	13人(14)	6人(6)	3人(3)	13人(14)	0人(0)	3人(3)	教授	准教授	講師	助手	兼任
教員以外	157人(157)	60人(60)	7人(7)	0人(0)	168人(168)	182人(182)	325人(325)	182人(182)	73人(73)	290人(290)	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
技術職員	60人(60)	13人(13)	0人(0)	0人(0)	73人(73)	74人(74)	149人(149)	74人(74)	149人(149)	149人(149)	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
図書館専門職員	7人(7)	0人(0)	0人(0)	0人(0)	7人(7)	5人(5)	22人(22)	5人(5)	22人(22)	22人(22)	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
その他の職員	0人(0)	62人(62)	62人(62)	62人(62)	62人(62)	9人(9)	86人(86)	9人(9)	86人(86)	86人(86)	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
計	224人(224)	243人(243)	467人(467)	467人(467)	467人(467)	270人(270)	547人(547)	270人(270)	547人(547)	547人(547)	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	

校地等	区分	専用		共用		共用する他の専用		専用する他の専用		共用		共用する他の専用		専用(合計)		共用(合計)		共用する他の学校の専用(合計)		計	
		専	用	専	用	専	用	専	用	専	用	専	用	専	用	専	用	専	用		
校舎敷地 運動場用地 小計 その他 合計	校舎敷地	237,007㎡	0㎡	237,007㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	280,802㎡	0㎡	0㎡	0㎡
	運動場用地	46,341㎡	0㎡	46,341㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	61,037㎡	0㎡	0㎡	0㎡
	小計	283,348㎡	0㎡	283,348㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	341,839㎡	0㎡	0㎡	0㎡
	その他	180,899㎡	0㎡	180,899㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	74,213㎡	0㎡	0㎡	0㎡
	合計	464,247㎡	0㎡	464,247㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	416,052㎡	0㎡	0㎡	0㎡
大学全体の収容定員 (うち共同学科に係る収容定員を除いた数)		5,179人 (5,139)																			
教室等	講義室	77室	45室	503室	90室	51室	362室	362室	0室	51室	362室	362室	0室	51室	362室	362室	0室	51室	362室	362室	0室
	演習室	45室	45室	503室	90室	51室	362室	362室	0室	51室	362室	362室	0室	51室	362室	362室	0室	51室	362室	362室	0室
	情報処理学習施設	10室	10室	0室	12室	3室	3室	3室	0室	12室	3室	3室	0室	12室	3室	3室	0室	12室	3室	3室	0室
専任教員研究室	(補助職員3人) 32室																				
図書・設備	図書	543,273 [178,994]	44,178 (7,031)	7,043 (6,402)	2,998 (2,948)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	備	(537,521 [178,389])	(44,183 (7,036))	(7,043 (6,402))	(2,948)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
図書館	面	6,307㎡																			
	積	9,089㎡																			
区分	開設前年度	679,789冊																			
	第4年度	679冊																			
経費の見積り	教員1人当り研究費等	544,889冊																			
	共同研究費等	882冊																			
図書購入費	第1年度	- 千円																			
	第2年度	- 千円																			
設備購入費	第3年度	- 千円																			
	第4年度	- 千円																			
学生1人当り納金	第5年度	- 千円																			
	第6年度	- 千円																			
学生納付金の概要	第1年度	- 千円																			
	第2年度	- 千円																			
備考	第3年度	- 千円																			
	第4年度	- 千円																			
備考	第5年度	- 千円																			
	第6年度	- 千円																			
国費(運営費交付金)による																					
国費(運営費交付金)による																					

国立大学法人 東京農工大学							
大学部等の名称	名称	人学定員	編入学定員 年次人	収容定員	学位又は称号	開設年度	所在地
【工学府】		人		人			
(博士前期課程)							
生命工学専攻		58	-	116	博士(工学)	平成16年度	
応用化学専攻		78	-	156	博士(工学)	平成16年度	
機械システム工学専攻		70	-	140	博士(工学)	平成16年度	
物理システム工学専攻		26	-	52	博士(工学)	平成16年度	
電気電子工学専攻		66	-	132	博士(工学)	平成16年度	
情報工学専攻		42	-	84	博士(工学)	平成18年度	〒184-8588 東京都小金井市中町二丁目24番16号
(博士後期課程)							
生命工学専攻		14	-	42	博士(工学)	平成16年度	
応用化学専攻		14	-	42	博士(工学)	平成16年度	
機械システム工学専攻		13	-	39	博士(工学)	平成16年度	
電子情報工学専攻		19	-	57	博士(工学)	平成18年度	
(専門職学位課程)							
産業技術専攻		40	-	80	技術経営修士(専門職)	平成23年度	
【農学府】							
(修士課程)							
生物生産科学専攻		27	-	54	修士(農学)	平成16年度	
共生持続社会学専攻		12	-	24	修士(農学)	平成16年度	
応用生命化学専攻		30	-	60	修士(農学)	平成16年度	
生物制御科学専攻		20	-	40	修士(農学)	平成16年度	〒183-8509 東京都府中市幸町三丁目5番8号
環境資源物質科学専攻		11	-	22	修士(農学)	平成16年度	
物質循環環境科学専攻		17	-	34	修士(農学)	平成16年度	
自然環境保全学専攻		19	-	38	修士(農学)	平成16年度	
農業環境工学専攻		10	-	20	修士(農学)	平成16年度	
国際環境農学専攻		28	-	56	修士(農学)	平成16年度	

【生物システム応用科学府】 (博士前期課程) 生物機能システム科学専攻 生物システム応用科学専攻 (博士後期課程) 生物機能システム科学専攻 共同先進健康科学専攻 生物システム応用科学専攻 (一貫制博士課程) 食料エネルギーシステム科学専攻	2	59	-	118	博士(工学) 博士(農学) 博士(学術) 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	平成27年度 平成27年度 平成22年度 平成27年度	〒184-8588 東京都小金井市中町二丁目24番10号
	3	12	-	36	博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	平成27年度	
	3	6	-	18	博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	平成22年度	
	5	10	-	50	博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	平成27年度	
	3	15	-	45	博士(農学) 博士(学術)	平成19年度	
	3	10	-	30	博士(農学) 博士(学術)	平成19年度	〒183-8509 東京都府中市幸町三丁目5番8号
【連合農学研究科】 (博士課程) 生物生産科学専攻 応用生命科学専攻 環境資源共生科学専攻 農業環境工学専攻 農林共生社会科学専攻	3	10	-	30	博士(農学) 博士(学術)	平成19年度	
	3	4	-	12	博士(農学) 博士(学術)	平成19年度	
	3	6	-	18	博士(農学) 博士(学術)	平成19年度	
	4	57	-	228	学士(農学)	平成16年度	
	4	71	-	284	学士(農学)	平成16年度	
	4	61	-	244	学士(農学)	平成16年度	〒183-8509 東京都府中市幸町三丁目5番8号
【農学部】 生物生産学科 応用生物科学科 環境資源科学科 地域生態システム学科 共同獣医学科 獣医学科	4	76	-	304	学士(農学)	平成16年度	
	6	35	-	210	学士(獣医学)	平成24年度	
	-	-	-	-	学士(獣医学)	平成16年度	
	4	77	3年次	330	学士(工学)	平成16年度	
【工学部】 生命工学科 応用分子化学科	4	46	5	194	学士(工学)	平成16年度	

校 舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計	学年	学位又は称号	開設年度	所在地	
			0㎡	0㎡						128,183㎡
有機材料化学科	4	41	5	174	174	平成16年度	学士(工学)	平成16年度	〒184-8588 東京都小金井市中町二丁目24番16号	
化学システム工学科	4	35	5	150	150	平成16年度	学士(工学)	平成16年度		
機械システム工学科	4	116	16	496	496	平成16年度	学士(工学)	平成16年度		
物理システム工学科	4	56	-	224	224	平成16年度	学士(工学)	平成16年度		
電気電子工学科	4	88	20	392	392	平成16年度	学士(工学)	平成16年度		
情報工学科	4	62	8	264	264	平成16年度	学士(工学)	平成16年度		
校 舎	(128,183㎡)	128,183㎡	0㎡	0㎡	0㎡					
大 学 名	国立大学法人 岩手大学									
学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設年度	所在地			
人文社会科学部	年	人	人	人						
人間文化課程	4	125	3年次 6	250	学士(総合科学)	平成28年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号			
地域政策課程	4	75	4	150	学士(総合科学)	平成28年度				
人間科学課程	-	-	-	-	学士(総合科学)					
国際文化課程	-	-	-	-	学士(総合科学)					
法学経済課程	-	-	-	-	学士(総合科学)					
環境科学課程	-	-	-	-	学士(総合科学)					
教育学部	4	160	3年次 2	320	学士(教育)	平成28年度				
学校教育教員養成課程					学士(生涯教育)					
生涯教育課程					学士(芸術文化)					
芸術文化課程										
理工学部	4	90	3年次 2	180	学士(理工学)	平成28年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番33号			
化学・生命理工学科	4	80	2	160	学士(理工学)	平成28年度				
物理・材料理工学科	4	270	16	540	学士(工学)	平成28年度				
システム創成工学科										
工学部										
応用化学・生命工学科					学士(工学)					
マテリアル工学科					学士(工学)					
電気電子・情報システム工学科					学士(工学)					
機械システム工学科					学士(工学)					
社会環境工学科										
農学部	4	40	3年次 1	80	学士(農学)	平成28年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号			
植物生命科学科	4	40	1	80	学士(農学)	平成28年度				
応用生物化学科	4	30	-	60	学士(農学)	平成28年度				
森林科学科	4	60	2	120	学士(農学)	平成28年度				
食料生産環境学科	4	30	1	60	学士(農学)	平成28年度				
動物科学科										

共同獣医学科 農学生命課程 応用生物化学課程 共生環境課程 動物科学課程 獣医学課程	6	30	150	学士(獣医学) — 学士(農学) — 学士(農学) — 学士(農学) — 学士(獣医学)	平成24年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
総合科学研究科 地域創生専攻	2	54	108	修士(農学) 修士(水産学) 修士(工学) 修士(スポーツ健康科学) 修士(学術) 20 修士(学術) 360 修士(理工学) 修士(工学) 修士(芸術工学) 100 修士(農学)	平成29年度 平成29年度 平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号 岩手県盛岡市上田4丁目3番5号 岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
教育学研究科 教職実践専攻	2	16	32	教職修士(専門職)	平成28年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
人文社会科学研究科(修士課程) 人間科学専攻 国際化学専攻 社会・環境システム専攻	—	—	—	— 修士(学術) — 修士(学術) — 修士(学術)	—	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号
工学研究科(博士前期課程) 応用化学・生命工学専攻 フロンティア材料機能工学専攻 電気電子・情報システム工学専攻 機械システム工学専攻 社会環境工学専攻 デザイン・メディア工学専攻 金型・鋳造工学専攻	—	—	—	— 修士(工学) — 修士(工学) — 修士(工学) — 修士(工学) — 修士(工学) — 修士(工学) — 修士(工学) — 修士(工学)	—	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
農学研究科(修士課程) 農学生命専攻 応用生物化学専攻 共生環境専攻 動物科学専攻 バイオフロンティア専攻	—	—	—	— 修士(農学) — 修士(農学) — 修士(農学) — 修士(農学) — 修士(農学)	—	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
工学研究科(博士課程) フロンティア物質機能工学専攻 電気電子・情報システム工学専攻 機械・社会環境システム工学専攻 デザイン・メディア工学専攻	3 3 3 3	9 4 4 3	27 12 12 9	博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学又は芸術工学)	平成21年度 平成21年度 平成21年度 平成21年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
連合農学研究科(博士課程) 生物生産科学専攻	3	8	24	修士(農学又は学術)	平成21年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号

既設学部等の状況

基本計画書

基本計画											
事項	記入欄							備考			
計画の区分											
フリガナ設置者	コリツカクイカホジシ イワテカク										
フリガナ大学の名称	イワテカクカクイカク										
大学本部の位置	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号										
大学の目的	国立大学法人岩手大学大学院は、学術の理論及び応用を教育研究し、国際的な学術文化の創造を目指すとともに、幅広く高度な学識と専門的な能力を備えた人材の育成を通じて、地域社会と国際社会の文化の進展に寄与することを目的とする。										
新設学部等の目的											
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地			
	計	年	人	年次人	人		年月 第 年次				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	連合農学研究科 生物生産科学専攻（廃止）（△8名）（平成30年4月学生募集停止） 生物資源科学専攻（廃止）（△10名）（平成30年4月学生募集停止） 寒冷圏生命システム学専攻（廃止）（△6名）（平成30年4月学生募集停止） 生物環境科学専攻（廃止）（△8名）（平成30年4月学生募集停止） 生物生産科学専攻（設置）（9名）（平成29年4月届出予定） 生物資源科学専攻（設置）（8名）（平成29年4月届出予定） 地域環境創生学専攻（設置）（7名）（平成29年4月届出予定）										
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計	単位					
		科目	科目	科目	科目	単位					
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等		
				教授	准教授	講師	助教	計		助手	
			人	人	人	人	人	人			
	新設分										
		計									
	既設分	総合科学研究科（修士課程） 地域創生専攻			41 (45)	46 (46)	2 (2)	6 (6)	95 (99)	0 (0)	83 (79)
		総合文化学専攻			27 (28)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	46 (47)	0 (0)	72 (72)
		理工学専攻			43 (47)	37 (37)	1 (1)	23 (23)	104 (108)	0 (0)	95 (91)
		農学専攻			19 (20)	18 (18)	1 (1)	3 (3)	41 (42)	0 (0)	89 (89)
		工学研究科（博士課程） フロンティア物質機能工学専攻			15 (18)	17 (17)	0 (0)	0 (0)	32 (35)	0 (0)	10 (10)
		電気電子・情報システム工学専攻			7 (9)	8 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (19)	0 (0)	10 (10)
		機械・社会システム工学専攻			8 (10)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	23 (25)	0 (0)	10 (10)
		デザイン・メディア工学専攻			4 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (8)	0 (0)	10 (10)
連合農学研究科（博士課程） 生物生産科学専攻			23 (23)	37 (37)	0 (0)	5 (5)	65 (65)	0 (0)	15 (15)		
生物資源科学専攻			24 (24)	34 (34)	1 (1)	3 (3)	62 (62)	0 (0)	14 (14)		
地域環境創生学専攻			20 (20)	39 (39)	2 (2)	4 (4)	65 (65)	0 (0)	13 (13)		

平成30年度届出予定
平成30年度届出予定
平成30年度届出予定

教 員 組 織 の 概 要	既 設 分	教育学研究科（専門職学位課程） 教職実践専攻	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	22 (22)
		教育推進機構	2 (2)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
		研究推進機構	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
		地域連携推進機構	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
		入試センター	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		教員養成支援センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		情報基盤センター	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
		保健管理センター	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
		地域防災研究センター	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		平泉文化研究センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		国際連携室	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		評価室	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		男女共同参画室	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
		計	197 (206)	152 (151)	40 (40)	34 (34)	423 (431)	0 (0)	- (-)
		合 計		197 (206)	152 (151)	40 (40)	34 (34)	423 (431)	0 (0)
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		182 (182)		108 (108)		290 (290)		
	技術職員		74 (74)		75 (75)		149 (149)		
	図書館専門職員		5 (5)		17 (17)		22 (22)		
	その他の職員		9 (9)		77 (77)		86 (86)		
	計		270 (270)		277 (277)		547 (547)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校舎敷地	280,802 m ²	0 m ²	0 m ²		280,802 m ²			
	運動場用地	61,037 m ²	0 m ²	0 m ²		61,037 m ²			
	小 計	341,839 m ²	0 m ²	0 m ²		341,839 m ²			
	その他	74,213 m ²	0 m ²	0 m ²		74,213 m ²			
	合計	416,052 m ²	0 m ²	0 m ²		416,052 m ²			
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	141,583 m ² (141,583 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		141,583 m ² (141,583 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	96 室	51 室	362 室	12 室 (補助職員 0人)	3 室 (補助職員 0人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称 獣医学研究科共同獣医学専攻		室 数					
				27		室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	総合科学研究科 地域創生専攻	909,997 [199,025] (889,413 [197,085])	11,525 [2,204] (11,373 [2,180])	6,340 [5,767] (6,340 [5,767])	4,743 (4,115)	87 (87)	0 (0)		
	計	909,997 [199,025] (889,413 [197,085])	11,525 [2,204] (11,373 [2,180])	6,340 [5,767] (6,340 [5,767])	4,743 (4,115)	87 (87)	0 (0)		
図書館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
	9,089 m ²	679 席		679,789 冊		大学全体			
体育館	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	6,357 m ²	野球場	陸上競技場	テニスコート	武道場ほか				

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費（運営費交付金）による
		教員1人当り研究費等	-	-	-	-	-	-	
		共同研究費等	-	-	-	-	-	-	
		図書購入費	-	-	-	-	-	-	
		設備購入費	-	-	-	-	-	-	
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要									
既設大学等の状況	大学の名称	岩手大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	人文社会科学部	4	200	3年次			1.03		岩手県盛岡市上田3丁目18番34号
	人間文化課程	4	125	6	250	学士（総合科学）	1.04	平成28年度	
	地域政策課程	4	75	4	150	学士（総合科学）	1.06	平成28年度	
	人間科学課程	-	-	-	-	学士（総合科学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	国際文化課程	-	-	-	-	学士（総合科学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	法学経済課程	-	-	-	-	学士（総合科学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	環境科学課程	-	-	-	-	学士（総合科学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	教育学部	4	160				1.06		岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
	学校教育教員養成課程	4	160		640	学士（教育）	1.07	平成12年度	
	生涯教育課程	-	-	-	-	学士（生涯教育）	-	-	平成28年より学生募集停止
	芸術文化課程	-	-	-	-	学士（芸術文化）	-	-	平成28年より学生募集停止
	理工学部	4	440	3年次			1.02		岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
	化学・生命理工学科	4	90	2	180	学士（理工学）	1.05	平成28年度	
	物理・材料理工学科	4	80	2	160	学士（理工学）	1.02	平成28年度	
	システム創成工学科	4	270	16	540	学士（工学）	1.02	平成28年度	
	工学部	-	-	-	-		-	-	平成28年より学生募集停止
	応用化学・生命工学科	-	-	-	-	学士（工学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	マテリアル工学科	-	-	-	-	学士（工学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	電気電子・情報システム工学科	-	-	-	-	学士（工学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	機械システム工学科	-	-	-	-	学士（工学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	社会環境工学科	-	-	-	-	学士（工学）	-	-	平成28年より学生募集停止
	農学部	4	200				1.06		4年制学科
		6	30	3年次			1.08		6年制学科
植物生命科学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.08	平成28年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
応用生物化学科	4	40	1	80	学士（農学）	1.02	平成28年度		
森林科学科	4	30	-	60	学士（農学）	1.08	平成28年度		
食料生産環境学科	4	60	2	120	学士（農学）	1.06	平成28年度		
動物科学科	4	30	1	60	学士（農学）	1.01	平成28年度		
農学生命課程	-	-	-	-	学士（農学）	-	-	平成28年より学生募集停止	
応用生物化学課程	-	-	-	-	学士（農学）	-	-	平成28年より学生募集停止	
共生環境課程	-	-	-	-	学士（農学）	-	-	平成28年より学生募集停止	
動物科学課程	-	-	-	-	学士（農学）	-	-	平成28年より学生募集停止	
共同獣医学科	6	30		180	学士（獣医学）	1.08	平成24年度		
総合科学研究科	2	294				0.96			
地域創生専攻	2	54		54	修士（農学） 修士（水産学） 修士（工学） 修士（スポーツ健康科学） 修士（学術）	1.18	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
総合文化学専攻	2	10		10	修士（学術）	0.70	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
理工学専攻	2	180		180	修士（理工学） 修士（工学） 修士（芸術工学）	0.88	平成29年度	岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
農学専攻	2	50		50	修士（農学）	1.08	平成29年度	岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
人文社会科学研究科（修士課程）	2	16						岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間科学専攻	-	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	平成29年より学生募集停止	
国際文化学専攻	-	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	平成29年より学生募集停止	
社会・環境システム学専攻	-	-	-	-	修士（学術）	-	平成16年度	平成29年より学生募集停止	

既設大学等の状況	教育学研究科（専門職学位課程）	2	16			1.09		岩手県盛岡市上田3		
	教職実践専攻	2	16	16	教職修士（専門職）	1.09	平成28年度	丁目18番33号		
	工学研究科（博士前期課程）	2	165					岩手県盛岡市上田4		
	応用化学・生命工学専攻		-		- 修士（工学）	-	平成21年度	丁目3番5号	平成29年より学生募集停止	
	フロンティア材料機能工学専攻		-		- 修士（工学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	電気電子・情報システム工学専攻		-		- 修士（工学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	機械システム工学専攻		-		- 修士（工学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	社会環境工学専攻		-		- 修士（工学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	デザイン・メディア工学専攻		-		- 修士（工学又は芸術工学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	金型・鋳造工学専攻		-		- 修士（工学）	-	平成18年度		平成29年より学生募集停止	
	農学研究科（修士課程）	2	67					岩手県盛岡市上田3		
	農学生命専攻		-		- 修士（農学）	-	平成21年度	丁目18番8号	平成29年より学生募集停止	
	応用生物化学専攻		-		- 修士（農学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	共生環境専攻		-		- 修士（農学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	動物科学専攻		-		- 修士（農学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	バイオフロンティア専攻		-		- 修士（農学）	-	平成21年度		平成29年より学生募集停止	
	工学研究科（博士後期課程）	3	20				0.88		岩手県盛岡市上田4	
	フロンティア物質機能工学専攻	3	9	27	博士（工学）	0.29	平成21年度	丁目3番5号		
	電気電子・情報システム工学専攻	3	4	12	博士（工学）	1.16	平成21年度			
	機械・社会環境システム工学専攻	3	4	12	博士（工学）	1.50	平成21年度			
デザイン・メディア工学専攻	3	3	9	博士（工学又は芸術工学）	1.44	平成21年度				
連合農学研究科（博士課程）	3	32				0.91		岩手県盛岡市上田3		
生物生産科学専攻	3	8	24	博士（農学又は学術）	1.12	平成2年度	丁目18番8号			
生物資源科学専攻	3	10	30	博士（農学又は学術）	0.90	平成2年度				
寒冷圏生命システム工学専攻	3	6	18	博士（農学又は学術）	0.66	平成18年度				
生物環境科学専攻	3	8	18	博士（農学又は学術）	0.91	平成2年度				

附属施設の概要	○教育推進機構								
	<p>目的： 学士課程教育、国際教育、学生生活及びキャリア形成に関する主要施策を、調査・研究を含め総合的に推進し、本学の教育の充実・改善を図るとともに、教育における大学戦略を各部署と連携の上、推進する。</p>								
	<p>所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番34号</p> <p>設置年月： 平成16年4月（平成26年4月再編）</p> <p>規模： 132㎡</p>								
	○研究推進機構								
	<p>目的： 本学の特色ある研究の推進及び学術研究の基盤強化を図るとともに、研究における大学戦略を各部署と連携の上、推進する。</p>								
	<p>所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号</p> <p>設置年月： 平成26年4月</p> <p>規模： 4,298㎡</p>								
○三陸復興・地域創生推進機構									
<p>目的： 岩手大学の社会貢献目標に基づき、東日本大震災により被災した三陸沿岸地域等の復興を支援し推進するとともに、岩手大学の教育研究成果及び知的資産の地域への普及・還元を図り、地域創生における大学戦略を各部署と連携の上、推進することを目的とする。</p>									
<p>所在地： 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号</p> <p>設置年月： 平成16年4月（平成28年4月再編）</p> <p>規模： 3,009㎡</p>									
○情報基盤センター									
<p>目的： 岩手大学（以下「本学」という。）のキャンパス情報ネットワークを含む基盤的情報システムの運用管理を行うとともに、本学における教育、研究及び運営に係る業務を円滑に遂行するため、情報教育、情報技術の研究及び各部署等における情報化の支援を行うことを目的とする。</p>									
<p>所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号</p> <p>設置年月： 昭和62年4月（平成26年4月名称変更）</p> <p>規模： 684㎡</p>									
○入試センター									
<p>目的： 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、入学者の確保に関する施策や調査・研究等について、各学部や関係部署と連携の上、総合的に推進する。</p>									
<p>所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号</p> <p>設置年月： 平成26年4月</p> <p>規模： 25㎡</p>									

附属施設の概要

○地域防災研究センター

目的： 地域特性に応じた「多重防災型まちづくり」と地域の安全を支えるための「災害文化の醸成と継承」を基本とする地域に根ざした防災システムの構築及び自然災害からの復興を推進する。

所在地： 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号

設置年月： 平成24年4月

規模： 259㎡

○三陸水産研究センター

目的： 水産業に科学的根拠に基づく付加価値を加え、水産業の高度化、三陸水産品のブランド化を目指すとともに、水産関連技術者の高度化教育や人材育成を行い、三陸地域の活性化を推進することにより、三陸沿岸の復興に寄与する。

所在地： 岩手県釜石市大字平田大三地割75番1号

設置年月： 平成25年4月

規模： 2,143㎡

○平泉文化研究センター

目的： 東アジアにおける平泉遺跡群の国際的意義を解明するための研究拠点を形成し、平泉文化を国際的・学際的な観点のもとで総合化する「平泉学」を構築することを目指す。併せて、本学における教育研究の進展に寄与するとともに、その研究成果を基に、地域振興に寄与する。

所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番33号

設置年月： 平成24年4月

規模： 150㎡

○ものづくり技術研究センター

目的： これまで岩手大学が蓄積してきた金型技術、鋳造技術及び複合デバイス技術等、工学系分野の実績を活かし、これに農学系分野、社会科学系分野まで含めた全学体制でのものづくり技術の総合的研究拠点として、ものづくり技術に関する研究のさらなる発展を目指すとともに、研究成果とものづくり技術を地域産業等に提供し、新産業の創出及び高度専門技術者の育成を通じて地域産業の発展及び岩手の基幹的産業の高度化を図ることを目的とする。

所在地： 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号

設置年月： 平成28年4月

規模： 1,227㎡

○教員養成支援センター

目的： 岩手大学における教員養成の充実・強化、質の保証及び教員免許に関わる研修の実施等について、全学的視点から取組むことを目的とする。

所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番33号

設置年月： 平成18年7月（平成26年4月名称変更）

規模： 25㎡

○保健管理センター

目的： 学生及び職員の心身両面にわたる健康の保持増進を図ることによって肉体的精神的に教育研究基盤を支え、地域に貢献する人材の輩出に寄与するとともに、大学における学校保健と労働衛生の実践活動を通して生じる研究成果を基に、学内にとどまらず健康な地域社会の発展のために積極的に貢献する。

所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番34号

設置年月： 昭和47年5月

規模： 416㎡

○R I 総合実験センター

目的： 岩手大学における放射性同位元素等の適正に管理し、同位元素使用による基礎及び応用研究を推進するとともに、併せて放射線による障害等の発生を防止する。

所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

設置年月： 昭和58年4月（平成26年4月名称変更）

規模： 522㎡

○国際連携室

目的： 国際社会の発展に貢献する人材の育成と学術の国際的推進を図るために、国際連携における大学戦略を各部局と連携の上、推進する。

所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番34号

設置年月： 平成26年4月

規模： 155㎡

附属施設の概要

- 農学部附属寒冷フィールド教育研究センター
 目的： 農学部、農学研究科及び連合農学研究科における農学に関する教育研究の進展に資するフィールド諸科学の寒冷地における総合的・実践的な教育研究及び地域貢献を行うことを目的とする。
- <農場>
 所在地： (滝沢農場) 岩手県滝沢市菓子1552
 (御明神牧場) 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野
 設置年月： 昭和24年5月 (平成14年4月組織再編)
 規模： 7,705㎡
- <演習林>
 所在地： (滝沢演習林) 岩手県滝沢市檜の木沢80
 (御明神演習林) 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野
 設置年月： 昭和24年5月 (平成14年4月組織再編)
 規模： 927㎡
- 農学部附属動物病院
 目的： 獣医学における臨床教育及び臨床研究を推進するとともに、地域における高度獣医療の発展に寄与することを目的とする。
- 所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
 設置年月： 昭和24年5月
 規模： (伴侶動物診療棟) 1,923㎡、(産業動物診療棟) 1,676㎡
- 農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
 目的： 岩手大学農学部の動物生命科学に関する基礎的・応用的教育研究の拠点として、人類と動物の間に生ずる課題を解決するとともに、健康な家畜の生産と食の安全・安心に関する教育及び研究を推進し、その成果を世界に発信することを目的とする。
- 所在地： 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
 設置年月： 平成18年4月
 規模：
- 教育学部附属小学校
 目的： 心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すとともに、学部における児童の教育に関する研究に協力し、教育実践を通じて岩手県教育の発展に寄与することを目的とする。
- 所在地： 岩手県盛岡市加賀野二丁目6番1号
 設置年月： 昭和26年4月
 規模： 7,029㎡
- 教育学部附属中学校
 目的： 小学校教育の基礎の上に、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育を施すとともに、学部における生徒の教育に関する研究に協力し、教育実践を通じて岩手県教育の発展に寄与することを目的とする。
- 所在地： 岩手県盛岡市加賀野三丁目9番1号
 設置年月： 昭和26年4月
 規模： 6,171㎡
- 教育学部附属特別支援学校
 目的： 知的障害者に対し、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けるとともに、その専門性を生かし、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、特別支援教育に関し必要な助言又は援助や、学部における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、教育実践を通じて岩手県教育の発展に寄与することを目的とする。
- 所在地： 岩手県盛岡市東安庭三丁目4番20号
 設置年月： 昭和49年4月
 規模： 4,931㎡
- 教育学部附属幼稚園
 目的： 義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目指すとともに、学部における幼児の教育に関する研究に協力し、教育実践を通じて岩手県教育の発展に寄与することを目的とする。
- 所在地： 岩手県盛岡市加賀野三丁目9番1号
 設置年月： 昭和26年4月
 規模： 979㎡

国立大学法人岩手大学 設置計画等に関わる組織の移行表

平成29年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成30年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
岩手大学				岩手大学				
人文社会科学部		3年次		人文社会科学部		3年次		
人間文化課程	125	6	512	人間文化課程	125	6	512	
地域政策課程	75	4	308	地域政策課程	75	4	308	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	160		640	学校教育教員養成課程	160		640	
理工学部		3年次		理工学部		3年次		
化学・生命理工学科	90	2	364	化学・生命理工学科	90	2	364	
物理・材料理工学科	80	2	324	物理・材料理工学科	80	2	324	
システム創成工学科	270	16	1112	システム創成工学科	270	16	1112	
農学部		3年次		農学部		3年次		
植物生命科学科	40	1	162	植物生命科学科	40	1	162	
応用生物化学科	40	1	162	応用生物化学科	40	1	162	
森林科学科	30		120	森林科学科	30		120	
食料生産環境学科	60	2	244	食料生産環境学科	60	2	244	
動物科学科	30	1	122	動物科学科	30	1	122	
共同獣医学科(6年生)	30		180	共同獣医学科(6年生)	30		180	
計	1030	3年次 35	4250	計	1030	3年次 35	4250	
岩手大学大学院				岩手大学大学院				
総合科学研究科				総合科学研究科				
地域創生専攻(M)	54	-	108	地域創生専攻(M)	54	-	108	
総合文化学専攻(M)	10	-	20	総合文化学専攻(M)	10	-	20	
理工学専攻(M)	180	-	360	理工学専攻(M)	180	-	360	
農学専攻(M)	50	-	100	農学専攻(M)	50	-	100	
工学研究科				工学研究科				
フロンティア物質機能工学専攻(D)	9	-	27	フロンティア物質機能工学専攻(D)	9	-	27	
電気電子・情報システム工学専攻(D)	4	-	12	電気電子・情報システム工学専攻(D)	4	-	12	
機械・社会環境システム工学専攻(D)	4	-	12	機械・社会環境システム工学専攻(D)	4	-	12	
デザイン・メディア工学専攻(D)	3	-	9	デザイン・メディア工学専攻(D)	3	-	9	
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践専攻(P)	16	-	32	教職実践専攻(P)	16	-	32	
連合農学研究科				連合農学研究科				
生物生産科学専攻(D)	8	-	24	生物生産科学専攻(D)	8	-	24	平成30年4月募集停止
生物資源科学専攻(D)	10	-	30	生物資源科学専攻(D)	10	-	30	平成30年4月募集停止
寒冷圏生命システム学専攻(D)	6	-	18	寒冷圏生命システム学専攻(D)	6	-	18	平成30年4月募集停止
生物環境科学専攻(D)	8	-	24	生物環境科学専攻(D)	8	-	24	平成30年4月募集停止
				<u>生物生産科学専攻(D)</u>	<u>9</u>	-	<u>27</u>	専攻の設置(届出)
				<u>生物資源科学専攻(D)</u>	<u>8</u>	-	<u>24</u>	専攻の設置(届出)
				<u>地域環境創生学専攻(D)</u>	<u>7</u>	-	<u>21</u>	専攻の設置(届出)
				獣医学研究科				研究科の設置
				<u>共同獣医学専攻(D)</u>	<u>5</u>	-	<u>20</u>	専攻の設置(申請)
計	362	-	776	計	359	-	772	

教育課程等の概要（共同学科等）

（東京農工大学大学院農学府共同獣医学専攻）
 （岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	獣医学基礎講義A	1前	東京農工大学/岩手大学	2			○			25	20	5	5		兼2	集中・オムニバス・共同・メディア（一部） 集中・オムニバス・共同・メディア（一部） 集中・オムニバス・共同・メディア（一部） 集中・オムニバス・共同・メディア（一部） 隔年・オムニバス 隔年・オムニバス オムニバス・共同（一部）
	獣医学基礎講義B	2前	東京農工大学/岩手大学	2			○			25	20	5	5		兼2	
	研究デザイン演習	1前	東京農工大学/岩手大学	2				○		25	20	5	5			
	研究プレゼンテーション演習	2前	東京農工大学/岩手大学	2				○		25	20	5	5			
	研究倫理（東京農工大学）	1・2前	東京農工大学	1				○		9	1					
	研究倫理（岩手大学）	1・2前	岩手大学	1				○		2			1			
	科学英語	1・2前	東京農工大学/岩手大学	2					○	1	1				兼1	
小計（7科目）	—	—	—	12	0	0	—	—	25	20	5	5	0	兼3		
講座科目	動物基礎医学特論A（東京農工大学）	1後	東京農工大学		2			○		3	6				動物基礎医学講座科目、獣医衛生科学講座科目、獣医臨床医科学講座科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特論A及びB、他大学開講の特論Cの6単位を履修	
	動物基礎医学特論B（東京農工大学）	1後	東京農工大学		2			○		3	6					
	動物基礎医学特論C（東京農工大学）	2後	東京農工大学		2			○		3	6					
	動物基礎医学特論A（岩手大学）	1後	岩手大学		2			○		5	2					
	動物基礎医学特論B（岩手大学）	1後	岩手大学		2			○		5	2					
	動物基礎医学特論C（岩手大学）	2後	岩手大学		2			○		5	2					
	小計（6科目）	—	—	—	0	12	0	—	—	8	8	0	0	0		
獣医衛生科学講座科目	獣医衛生科学特論A（東京農工大学）	1後	東京農工大学		2			○		6	3	2			動物基礎医学講座科目、獣医衛生科学講座科目、獣医臨床医科学講座科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特論A及びB、他大学開講の特論Cの6単位を履修	
	獣医衛生科学特論B（東京農工大学）	1後	東京農工大学		2			○		6	3	2				
	獣医衛生科学特論C（東京農工大学）	2後	東京農工大学		2			○		6	3	2				
	獣医衛生科学特論A（岩手大学）	1後	岩手大学		2			○		4	1					
	獣医衛生科学特論B（岩手大学）	1後	岩手大学		2			○		4	1					
	獣医衛生科学特論C（岩手大学）	2後	岩手大学		2			○		4	1					
	小計（6科目）	—	—	—	0	12	0	—	—	10	4	2	0	0		
獣医臨床医科学講座科目	獣医臨床医科学特論A（東京農工大学）	1後	東京農工大学		2			○		2	5	3			動物基礎医学講座科目、獣医衛生科学講座科目、獣医臨床医科学講座科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特論A及びB、他大学開講の特論Cの6単位を履修	
	獣医臨床医科学特論B（東京農工大学）	1後	東京農工大学		2			○		2	5	3				
	獣医臨床医科学特論C（東京農工大学）	2後	東京農工大学		2			○		2	5	3				
	獣医臨床医科学特論A（岩手大学）	1後	岩手大学		2			○		5	2					
	獣医臨床医科学特論B（岩手大学）	1後	岩手大学		2			○		5	2					
	獣医臨床医科学特論C（岩手大学）	2後	岩手大学		2			○		5	2					
	小計（6科目）	—	—	—	0	12	0	—	—	7	7	3	0	0		
研究指導科目	動物基礎医学特別演習A（東京農工大学）	1～4通	東京農工大学		8				○	3	6				動物基礎医学研究指導科目 獣医衛生科学研究指導科目 獣医臨床医科学研究指導科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特別演習A及びB、他大学開講の特別演習Cの12単位を履修	
	動物基礎医学特別演習B（東京農工大学）	1通	東京農工大学		2				○	3	6					
	動物基礎医学特別演習C（東京農工大学）	2通	東京農工大学		2				○	3	6					
	動物基礎医学特別演習A（岩手大学）	1～4通	岩手大学		8				○	5	2					
	動物基礎医学特別演習B（岩手大学）	1通	岩手大学		2				○	5	2					
	動物基礎医学特別演習C（岩手大学）	2通	岩手大学		2				○	5	2					
	小計（6科目）	—	—	—	0	24	0	—	—	8	8	0	0	0		
獣医衛生科学特別演習科目	獣医衛生科学特別演習A（東京農工大学）	1～4通	東京農工大学		8				○	6	3	2			動物基礎医学研究指導科目 獣医衛生科学研究指導科目 獣医臨床医科学研究指導科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特別演習A及びB、他大学開講の特別演習Cの12単位を履修	
	獣医衛生科学特別演習B（東京農工大学）	1通	東京農工大学		2				○	6	3	2				
	獣医衛生科学特別演習C（東京農工大学）	2通	東京農工大学		2				○	6	3	2				
	獣医衛生科学特別演習A（岩手大学）	1～4通	岩手大学		8				○	4	1					
	獣医衛生科学特別演習B（岩手大学）	1通	岩手大学		2				○	4	1					
	獣医衛生科学特別演習C（岩手大学）	2通	岩手大学		2				○	4	1					
	小計（6科目）	—	—	—	0	24	0	—	—	10	4	2	0	0		
獣医臨床医科学特別演習科目	獣医臨床医科学特別演習A（東京農工大学）	1～4通	東京農工大学		8				○	2	5	3			動物基礎医学研究指導科目 獣医衛生科学研究指導科目 獣医臨床医科学研究指導科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特別演習A及びB、他大学開講の特別演習Cの12単位を履修	
	獣医臨床医科学特別演習B（東京農工大学）	1通	東京農工大学		2				○	2	5	3				
	獣医臨床医科学特別演習C（東京農工大学）	2通	東京農工大学		2				○	2	5	3				
	獣医臨床医科学特別演習A（岩手大学）	1～4通	岩手大学		8				○	5	2					
	獣医臨床医科学特別演習B（岩手大学）	1通	岩手大学		2				○	5	2					
	獣医臨床医科学特別演習C（岩手大学）	2通	岩手大学		2				○	5	2					
	小計（6科目）	—	—	—	0	24	0	—	—	7	7	3	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
獣医学学際科目	学際領域特別講義	1後	東京農工大学/岩手大学		2		○			25	20	5	5		兼2	オムニバス・共同・メディア (一部)
	国際感染症防疫学	2前	東京農工大学		1		○			1	1	1				オムニバス・メディア
	先進動物医療学	3前	東京農工大学		1		○			2	3	2				オムニバス・メディア
	食品衛生管理学	2前	岩手大学		1		○			2	1					オムニバス・メディア
	動物と人の共存学	3前	岩手大学		1		○			2	1					オムニバス・メディア
	小計 (5科目)	—			0	6	0	—		25	20	5	5	0	兼2	
先端実践科目	動物基礎医学学外演習 (理化学研究所)	1・2・3・4前・後	東京農工大学		1		○								兼1	共同
	獣医衛生科学学外演習 (国立感染症研究所)	1・2・3・4前・後	東京農工大学		1		○			2					兼1	
	獣医衛生科学学外演習 (医薬品食品衛生研究所)	1・2・3・4前・後	東京農工大学		1		○								兼1	
	獣医衛生科学学外演習 (農研機構)	1・2・3・4前・後	岩手大学		1		○			1					兼1	
	獣医臨床医学学外演習 (日本中央競馬会)	1・2・3・4前・後	岩手大学		1		○								兼1	
	獣医学特別演習 (東京農工大学)	1・2・3・4前・後	東京農工大学		1		○			11	14	5				
	獣医学特別演習 (岩手大学)	1・2・3・4前・後	岩手大学		1		○			14	5					
	海外演習A (東京農工大学)	1・2・3・4前・後	東京農工大学		1		○			11	14	5				
	海外演習B (東京農工大学)	1・2・3・4前・後	東京農工大学		2		○			11	14	5				
	海外演習A (岩手大学)	1・2・3・4前・後	岩手大学		1		○			14	5					
	海外演習B (岩手大学)	1・2・3・4前・後	岩手大学		2		○			14	5					
小計 (11科目)	—			0	13	0	—		25	19	5	0	0	兼3		
合計 (59科目)				—			12	127	0	—	25	20	5	5	0	兼6
学位又は称号		博士 (獣医学)		学位又は学科の分野			獣医学関係									
卒業要件及び履修方法				開設大学	開設単位数 (必修)			授業期間等								
本専攻における修了要件は、共通基盤科目から12単位、講義科目から6単位、研究指導科目から12単位、獣医学学際科目から2単位、先端実践科目から2単位の計34単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。 なお、修得単位数のうち相手大学から10単位以上を必ず修得するものとする。 動物基礎医学講座、獣医衛生科学講座、獣医臨床医学講座の中から1つの講座を選択し、講座科目については、自大学開講の特論A及び特論B、他大学開講の特論C (各2単位) を履修するとともに、研究指導科目については、自大学開講の特別演習A (8単位) 及び特別演習B (2単位)、他大学開講の特別演習C (2単位) を履修する。				東京農工大学	64(1)			1学年の学期区分		2期						
				岩手大学	63(1)			1学期の授業期間		15週						
				共同開講	12(10)			1時限の授業時間		90分						

教育課程等の概要

(東京農工大学大学院農学府共同獣医学専攻) 【東京農工大学開設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤科目	獣医学基盤講義A	1前	2			○			11	14	5	1		集中・オムニバス・共同・メディア(一部) 集中・オムニバス・共同・メディア(一部) 集中・オムニバス・共同・メディア(一部) 集中・オムニバス・共同・メディア(一部) 隔年・オムニバス・オムニバス・共同(一部) 兼
	獣医学基盤講義B	2前	2			○			11	14	5	1		
	研究デザイン演習	1前	2				○		11	14	5	1		
	研究プレゼンテーション演習	2前	2				○		11	14	5	1		
	研究倫理(東京農工大学)	1・2前	1			○			9	1				
	科学英語	1・2前	2				○							
	小計(6科目)	—	11			—			11	14	5	1	兼	
講座科目	動物基礎医学特論A(東京農工大学)	1後	2			○			3	6				動物基礎医学講座科目、獣医学研究指導科目、獣医学臨床医学研究指導科目、獣医学臨床医学研究指導科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特論A及びB、他大学開講の特論Cの6単位を履修
	動物基礎医学特論B(東京農工大学)	1後	2			○			3	6				
	動物基礎医学特論C(東京農工大学)	2後	2			○			3	6				
	小計(3科目)	—	6			—			3	6				
	獣医学衛生科学特論A(東京農工大学)	1後	2			○			6	3	2			
	獣医学衛生科学特論B(東京農工大学)	1後	2			○			6	3	2			
	獣医学衛生科学特論C(東京農工大学)	2後	2			○			6	3	2			
	小計(3科目)	—	6			—			6	3	2			
	獣医学臨床医学特論A(東京農工大学)	1後	2			○			2	5	3			
	獣医学臨床医学特論B(東京農工大学)	1後	2			○			2	5	3			
	獣医学臨床医学特論C(東京農工大学)	2後	2			○			2	5	3			
	小計(3科目)	—	6			—			2	5	3			
研究指導科目	動物基礎医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	8			○	○		3	6				動物基礎医学研究指導科目、獣医学衛生科学研究指導科目、獣医学臨床医学研究指導科目から1つの講座を選択し、その中から自大学開講の特別演習A及びB、他大学開講の特別演習Cの12単位を履修
	動物基礎医学特別演習B(東京農工大学)	1通	2			○	○		3	6				
	動物基礎医学特別演習C(東京農工大学)	2通	2			○	○		3	6				
	小計(3科目)	—	12			—			3	6				
	獣医学衛生科学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	8			○	○		6	3	2			
	獣医学衛生科学特別演習B(東京農工大学)	1通	2			○	○		6	3	2			
	獣医学衛生科学特別演習C(東京農工大学)	2通	2			○	○		6	3	2			
	小計(3科目)	—	12			—			6	3	2			
	獣医学臨床医学特別演習A(東京農工大学)	1~4通	8			○	○		2	5	3			
	獣医学臨床医学特別演習B(東京農工大学)	1通	2			○	○		2	5	3			
	獣医学臨床医学特別演習C(東京農工大学)	2通	2			○	○		2	5	3			
	小計(3科目)	—	12			—			2	5	3			
獣医学学際科目	学際領域特別講義	1後	2			○			11	14	5	1		オムニバス・共同・メディア(一部) オムニバス・メディア オムニバス・メディア
	国際感染症防疫学	2前	1			○			1	1	1			
	先進動物医療学	3前	1			○			2	3	2			
	小計(3科目)	—	4			—			11	14	5	1		
先端実践科目	動物基礎医学外演習(理化学研究所)	1・2・3・4前・後	1			○	○							兼 兼 共同
	獣医学衛生科学外演習(国立感染症研究所)	1・2・3・4前・後	1			○	○		2					
	獣医学衛生科学外演習(医薬品食品衛生研究所)	1・2・3・4前・後	1			○	○							
	獣医学特別演習(東京農工大学)	1・2・3・4前・後	1			○	○		11	14	5			
	海外演習A(東京農工大学)	1・2・3・4前・後	1			○	○		11	14	5			
	海外演習B(東京農工大学)	1・2・3・4前・後	2			○	○		11	14	5			
小計(6科目)	—	7			—			11	14	5		兼2		
合計(33科目)			—	11	65	0	—		11	14	5	1	兼3	
学位又は称号		博士(獣医学)			学位又は学科の分野			獣医学関係						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
本専攻における修了要件は、共通基盤科目から12単位、講義科目から6単位、研究指導科目から12単位、獣医学学際科目から2単位、先端実践科目から2単位の計34単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。								1学年の学期区分		2期				
								1学期の授業期間		15週				
								1時限の授業時間		90分				
<p>なお、修得単位数のうち相手大学から10単位以上を必ず修得するものとする。 動物基礎医学講座、獣医学衛生科学講座、獣医学臨床医学講座の中から1つの講座を選択し、講座科目については、自大学開講の特論A及び特論B、他大学開講の特論C(各2単位)を履修するとともに、研究指導科目については、自大学開講の特別演習A(8単位)及び特別演習B(2単位)、他大学開講の特別演習C(2単位)を履修する。</p>														

教育課程等の概要【基礎となる学部】														
(岩手大学農学部共同獣医学科)【岩手大学開設分】														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 導入 科目群	基礎ゼミナール	1前	1				○							全学 教員
	小計(1科目)	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	—
	健康 スポーツ 科目群	健康・スポーツA	1前	1				○						
	健康・スポーツB	1後	1				○							兼5
	小計(2科目)	—	2	0	0		—		0	0	0	0	0	—
外国 語科 目群	英語総合Ⅰ	1前	1			○								兼23
	英語総合Ⅱ	1後	1			○								兼23
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			○								兼15
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1			○								兼14
	英語総合Ⅲ	2前	1			○								兼1
	英語コミュニケーションⅢ	2後	1			○								兼1
	小計(6科目)	—	6	0	0		—		0	0	0	0	0	—
人文 社会 科学 科 目群	哲学の世界	1前		2		○								兼2
	倫理学の世界	1後		2		○								兼1
	憲法	2前・後		2		○								兼5
	経済のしくみ	2前		2		○								兼3
	現代社会の社会学	1後, 2前・後		2		○								兼4
	心の理解	1後, 2前・後		2		○								兼6
	日本の歴史と文化	1後		2		○								兼1
	市民と政治	2前		2		○								兼2
	小計(8科目)	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0	—
理数 系 基 礎 科 目群	生物学	1前	2			○								兼7
	化学	1前	2			○								兼1
	獣医細胞生物学	1後	2			○			1	1				
	情報基礎	1前	2			○								兼15
	小計(4科目)	—	8	0	0		—		1	1	0	0	0	—
共通 教育 科 目	初級ドイツ語(入門)	1前		1		○								兼9
	初級ドイツ語(入門)	1前		1		○								兼9
	初級ドイツ語(発展)	1後		1		○								兼10
	初級ドイツ語(発展)	1後		1		○								兼10
	初級フランス語(入門)	1前		1		○								兼11
	初級フランス語(入門)	1前		1		○								兼11
	初級フランス語(発展)	1後		1		○								兼9
	初級フランス語(発展)	1後		1		○								兼9
	初級中国語(入門)	1前		1		○								兼5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
配置大学特色科目群	初級中国語（入門）	1前		1		○										兼5	
	初級中国語（発展）	1後		1		○										兼5	
	初級中国語（発展）	1後		1		○										兼5	
	初級韓国語（入門）	1前		1		○										兼3	
	初級韓国語（入門）	1前		1		○										兼3	
	初級韓国語（発展）	1後		1		○										兼3	
	初級韓国語（発展）	1後		1		○										兼3	
	くらしと科学技術	1後		2		○											兼1
	知的財産入門	1・2前		2		○											兼1
	岩手大学ミュージアム学	1前		2		○											兼1
	水と環境	1後		2		○											兼1
	動物と環境	1後		2		○											兼1
	生活と環境	1後		2		○											兼1
	農学のための倫理学	2後		2		○											兼2
	人の暮らしと生物環境	1後		2		○											兼1
	欧米の思想と文化	1後		2		○											兼1
	市民生活と法	1・2前		2		○											兼4
	総合フィールド科学	1前		2		○											兼7
	総合フィールド科学実習	1前		1				○									兼5
	生命のしくみ	1・2前後		2		○											兼4
	物理学入門	1前		2		○											兼1
	線形代数学入門	1後		2		○											兼1
	微分積分学入門	1後		2		○											兼1
	生物統計学	1後		2		○				1							兼2
	基礎化学実験	1後		1				○									兼1
	基礎生物学実験	1後		1				○									兼23
	基礎物理物学演習	1前		1			○										兼2
	自然のしくみ	1・2前後		2			○										兼3
	小計（36科目）	—		0	54	0		—		0	0	0	0	0	0		—
	基礎獣医学科目群	獣医学概論	1前	2			○			8							ホニバス、集中
		獣医事法規	4後	1			○			2							兼1
		内臓・脈管系解剖学	2後	2			○			1	1						兼1
		解剖学実習	2前・後	3					○	1	1						
		組織学	2前	2			○			1							兼1
		組織学実習	2前	1					○	1	1						
		器官制御生理学	2後	2			○			1	1						
内分泌学		3前	2			○			1	1							ホニバス
生理学実習		2後	1					○	1	1							
獣医遺伝育種学		2前	1			○											兼1
実験動物学		2前	2			○				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基盤獣医学科目	実験動物学実習	2後	1					○	1	1							
	基礎放射線学	2後	2				○		2								
	獣医基礎生化学	2後	2				○			1							
	生化学実習	3前	1					○		1							
	統合薬理学	3後	2				○		1								
	薬理学実習	3前	1					○		1							
	小計 (17科目)	—	28	0	0			—	4	4	0	0	0			兼4	
	病原微生物学	3前	2				○		1	1							
	微生物学実習	2後・3前	2					○	1	1							
	原虫・原虫病学	3前	2				○		1								
	蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	3後	2				○		1								
	寄生虫学実習	3後	1					○	1								
	家禽疾病学	4前	2				○		1								
	魚病学	4後	2				○									兼1	
	動物病理学各論A (主要臓器)	3後	2				○		1								
	動物病理学各論B (他臓器・組織)	4前	2				○		1								
	病理学実習	3後・4前	2					○	1				1				
小計 (10科目)	—	19	0	0			—	5	2	0	1	0			兼1		
応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	3前	1				○		1							兼1	
	人獣共通感染症学	3後	2				○		1	1							
	環境衛生学	3後	2				○		1							兼1	
	公衆衛生学実習	3後	1					○	2							兼1	
	毒性学実習	3前	1					○	1							兼1	
	動物衛生学実習	3後	1					○	2							兼1	
	野生動物学	3後	1				○		1							兼1	
	食品衛生学実習	4前	1					○	1				1				
	公衆衛生実践実習	3・4・5前後	1					○	4	2			1				
	小計 (9科目)	—	11	0	0			—	5	2	0	1	0			兼6	
小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	3後	1				○		2							ホニバス	
	消化器病学	4後	2				○		1	1						兼1 ホニバス	
	外科学総論	3後	1				○		1	3						ホニバス	
	麻酔学・手術学	4前	1				○		1	3						兼1 ホニバス	
	軟部外科学	4後	1				○		1	2						兼1 ホニバス	
	小動物内科学実習・基礎編	4前	1					○	2				3				
	小動物内科学実習・応用編	4後	1					○	2				3				
	小動物外科学実習・基礎編	4前	1					○		1							兼1
	小動物外科学実習・応用編	4後	1					○		1							兼1
	代謝病・中毒学	5後	1				○		2								兼2 ホニバス
	血液免疫病学	5後	1				○		1								ホニバス
	神経病・運動器病学	5前	2				○		1	1							
	泌尿器病・生殖器病学	5後	2				○		2	1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
実証獣医学科目	臨床病理学	3後	2			○			2						兼2	オムバス	
	臨床腫瘍学	5後	2			○			3	1					兼1	オムバス	
	臨床栄養学	5後	1			○			1						兼1		
	画像診断学	5前	2			○			1	1					兼1	オムバス	
	画像診断実習	5前	1					○	1	2					兼1		
	総合参加型臨床実習Ⅰ	5前	1					○	3	2		3			兼2		
	総合参加型臨床実習Ⅱ	5前	1					○	2	2		2			兼2		
	小計(20科目)	—	26	0	0	—	—	—	2	1	0	3	0		兼18		
	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	4前	2			○			1							
		繁殖機能制御学実習	4前	1					○	2	2						
		臨床繁殖学実習	4後	1					○	2	2						
		産業動物臨床学Ⅰ	4前	2			○			1							
		産業動物臨床学Ⅱ	4後	2			○			1	1					兼1	
		馬臨床学	4後	1			○									兼1	
		大動物臨床実習・基礎編	5前	1					○	2	1		1				
		大動物臨床実習・応用編	5前	1					○	3	2		1				
		総合参加型臨床実習Ⅴ	6前	1					○	3	2		1			兼4	集中
		総合参加型臨床実習Ⅵ	6前	1					○	3	2		1			兼4	集中
	小計(10科目)	—	13	0	0	—	—	—	3	2	0	1	0		兼10		
	選択科目	インターンシップ	3・4・5前後		1				○								集中
海外実習		3・4・5前後		1				○								集中	
人と動物関係学		2前		2		○			1						兼3	集中	
動物品種論		3前		2		○			1						兼3	集中	
食品安全管理学		4前		2		○			6	1						集中	
小計(5科目)		—	0	8	0	—	—	—	3	0	0	0	0		兼6		
専修科目	獣医学演習	4後・5前	4				○		14	8	0	5	0				
	卒業研究	5後, 6前後	10					○	14	8	0	5	0				
	小計(2科目)	—	14	0	0	—	—	—	14	9	0	5	0				
合計(130科目)			—	128	78	0	—	—	14	9	0	5	0		兼45		
学位又は称号		学士(獣医学)		学位又は学科の分野			獣医学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等										
共通教育科目から必修科目19単位、選択科目25単位の計44単位を修得するとともに、専門科目から必修科目152単位、選択科目6単位の計158単位を修得し、合計202単位以上修得すること。							1学年の学期区分		2学期								
							1学期の授業期間		15週								
							1時限の授業時間		90分								

教育課程等の概要【基礎となる学部】

(東京農工大学農学部共同獣医学科) 【東京農工大学開設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通	農学基礎ゼミ	1前	1.5					○							全学 教員
	小計(1科目)	—	1.5	0	0			—							
スポーツ健康	体力学実技	1前	1												兼4
	生涯スポーツ実技	1後	1												兼3
	小計(2科目)	—	2	0	0			—							兼7
外国語科目群	Integrated English	1前	1			○									兼4
	Paragraph Writing	1後	1			○									兼2
	English Discussion	1後	1			○									兼2
	Essay Writing	2後	1			○									兼5
	English Presentation	2前	1			○									兼4
	English Reading	2前	1			○									兼2
	小計(6科目)	—	6	0	0			—							兼9
人文社会科学科目群	哲学	2前		2		○									兼1
	現代倫理論	1後		2		○									兼1
	日本国憲法	1前		2		○									兼1
	経済学	1後		2		○									兼2
	社会学	1後		2		○									兼1
	心理学	1後		2		○									兼1
	歴史学	1前		2		○									兼1
	共生社会政策論	2前		2		○									兼1
	小計(8科目)	—	0	16	0			—							兼9
研究指導科目	生物学	1前	2			○									兼6
	化学	1前	2			○									兼3
	微生物学	2前	2			○									兼3
	情報処理学	1前	2			○									兼1
	小計(4科目)	—	8	0	0			—							兼13
配置大学特色科目群	ドイツ語入門Ⅰ	1前		1		○									兼2
	ドイツ語入門Ⅱ	1後		1		○									兼2
	ドイツ語ステップアップ	1後		1		○									兼1
	フランス語入門Ⅰ	1前		1		○									兼1
	フランス語入門Ⅱ	1後		1		○									兼1
	フランス語ステップアップ	1後		1		○									兼1
	中国語入門Ⅰ	1前		1		○									兼1
	中国語入門Ⅱ	1後		1		○									兼1
	中国語ステップアップ	1後		1		○									兼1
	韓国語入門Ⅰ	1前		1		○									兼1
	韓国語入門Ⅱ	1後		1		○									兼1
	韓国語ステップアップ	1後		1		○									兼1
	科学史	1前		2		○									兼1
	知的財産権論	2後		2		○									兼1
	多文化共生論	1後		2		○									兼1
	自然保護文化論	2後		2		○									兼2
	産業史	1前		2		○									兼1
	食料・環境問題	1前		2		○									兼2
	技術者倫理	2後		2		○									兼1
	生命倫理	2後		2		○									兼1
現代宗教論	1前		2		○									兼1	
国際平和論	2前		2		○									兼1	
MORE SENSE 入門	1前		0.5		○									兼7	
生態学	1後		2		○									兼3	
生物構造機能学	2前		2		○									兼3	

オムニバス
オムニバス
オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	物理学	1前		2		○									兼1	オムニバス
	線形代数学 I	1前		2		○									兼1	
	微分積分学 I	1後		2		○									兼1	
	数理統計学	2後		2		○									兼1	
	化学実験	1後		1				○							兼3	
	生物学実験	1後・2前		1				○							兼6	
	有機化学	1後・2前		2		○									兼6	
	遺伝学	2前		2		○									兼2	
	小計 (33科目)	—	0	50.5	0	—									兼52	
基礎 獣医学 科目群	獣医倫理	1後	2			○			8	2	1				兼2	オムニバス、集中
	獣医事法規	4後	1			○									兼1	
	運動器・神経系解剖学	2前	2			○			1						兼1	
	解剖学実習	2前	3					○	1			1				
	組織学実習	2前	1					○	1			1				
	発生学	1後	1			○									兼1	
	統合生理学	2前	2			○			1			1				
	内分泌学	3前	2			○			1			1				
	生理学実習	2後	1					○	1			1				
	獣医遺伝育種学	2前	1			○									兼1	
	動物行動学	2後	2			○				1		1				
	実験動物学実習	2後	1					○	1							
	基礎放射線学	2後	2			○					1					
	獣医代謝生化学	3前	2			○			1							
	生化学実習	3前	1					○	1			1				
	基盤薬理学	3前	2			○			1	1						
	薬理学実習	3前	1					○	1	1						
小計 (17科目)	—	27	0	0	—				11	4	2	4		兼6		
病態 獣医学 科目群	微生物学総論	2後	2			○				2						オムニバス
	微生物学実習	2後・3前	2					○	1	2		1				
	免疫学	3後	2			○			2							
	寄生虫学実習	3後	1					○							兼1	
	動物感染症学	4前	3			○			1			1				
	魚病学	4後	2			○									兼1	
	動物病理学総論	3後	2			○			1	1						
	動物病理学各論 B (他臓器・組織)	4前	2			○			1	1						
	病理学実習	3後・4前	2					○	1	1						
小計 (9科目)	—	18	0	0	—				4	5		2		兼2		
応用 獣医学 科目群	公衆衛生学総論	3前	1			○			1		1					兼1 兼1
	疫学	3前	2			○			1	1						
	公衆衛生学実習	3後	1					○	1		1					
	毒性学	4後	2			○				1		1				
	毒性学実習	4後	1					○		1		1				
	動物衛生学	3後	2			○			1	1						
	動物衛生学実習	3後	1					○	1	1						
	野生動物学	3後	1			○				1						
	食品衛生学	4前	2			○			1		1					
	食品衛生学実習	4前	1					○	1		1					
	公衆衛生実践実習	3前～5後	1					○	2	1	1					
小計 (11科目)	—	15	0	0	—				2	3	1	1		兼1		
内科学 総論 呼吸器病・循環器病学 消化器病学 外科学総論 麻酔学・手術学 軟部外科学 小動物内科学実習・基礎編 小動物内科学実習・応用編	内科学総論	3後	1			○			2	1						オムニバス
	呼吸器病・循環器病学	4前	2			○				2						オムニバス
	消化器病学	4後	2			○			3	2		1				オムニバス
	外科学総論	3後	1			○			1	3	3					オムニバス
	麻酔学・手術学	4前	1			○			1	3	2					オムニバス
	軟部外科学	4後	1			○			1	2	2					オムニバス
	小動物内科学実習・基礎編	4前	1					○		1	2					
	小動物内科学実習・応用編	4後	1					○		1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
小動物臨床獣医学科目群	小動物外科学実習・基礎編	4前	1					○	1	3	2			兼1	オムニバス	
	小動物外科学実習・応用編	4後	1					○	1	2	3			兼1		
	内分泌病・皮膚病学	5前	2			○			3	1				兼1		
	代謝病・中毒学	5後	1			○			4	2		2		兼1		
	血液免疫病学	5後	1			○			2	1		1		兼1		
	臨床病理学	3後	2			○			2		1			兼1		
	臨床薬理学	5前	1			○			1	1				兼1		
	臨床腫瘍学	5後	2			○			2		1			兼1		
	臨床栄養学	5後	1			○								兼1		
	画像診断学	5前	2			○					1	1				
	画像診断実習	5前	1			○		○			1	1				
	眼科学	5後	1			○					1					
	動物行動治療学	4後	1			○					1			兼1		
	総合参加型臨床実習Ⅰ	5前	1					○	3	4	3	2		兼1		
	総合参加型臨床実習Ⅱ	5前	1					○	3	4	3	2		兼1		
	総合参加型臨床実習Ⅲ	5後	1					○	3	4	3	2		兼1		
	総合参加型臨床実習Ⅳ	5後	1					○	3	4	3	2		兼1		
	小計 (25科目)	—	—	31	0	0	—	—	—	8	7	3	2			兼7
	大動物臨床獣医学科目群	臨床繁殖学	4後	2			○				1					
		繁殖機能制御学実習	4前	1					○		1		1			
臨床繁殖学実習		4後	1					○		1		1				
大動物臨床実習・基礎編		5前	1					○						兼2		
大動物臨床実習・応用編		5前	1					○	1	1				兼2		
小計 (5科目)	—	—	6	0	0	—	—	—	1	2		1		兼4		
選択科目	インターンシップ	3・4・5前後		1				○							集中	
	海外実習	3・4・5前後		1				○							集中	
	動物園動物学	2後		2		○								兼3	集中	
	国際感染症制御学	3後		2		○								兼4	集中	
	動物病院経営学	4後		2		○								兼3	集中	
小計 (5科目)	—	—	0	8	0	—	—	—						兼10		
専修科目	獣医学演習	4後・5前		4			○		14	12	4	4	0	兼3		
	卒業研究	5後, 6前後		10				○	14	12	4	4	0	兼3		
	小計 (2科目)	—	—	0	14	0	—	—	14	12	4	4	0	兼3		
合計 (128科目)			—	115	88.5	0	—	—	14	12	4	4	0	兼30		
学位又は称号		学士 (獣医学)		学位又は学科の分野				獣医学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
共通教育科目から必修科目19単位、選択科目25単位の計44単位を修得するとともに、専門科目から必修科目152単位、選択科目6単位の計158単位を修得し、合計202単位以上修得すること。							1 学年の学期区分				2期					
							1 学期の授業期間				15週					
							1 時限の授業時間				90分					

授業科目の概要（共同学科等）				
（東京農工大学大学院農学府共同獣医学専攻） （岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通基盤科目	東京農工大学 岩手大学	獣医学基盤講義A	<p>（概要） 研究の基本的な考え方を理解させるために、博士課程の意義、最先端の獣医学的研究と獣医学研究における解析手法の基本について講義する。</p> <p>（オムニバス方式・共同／全15回）</p> <p>（2 柴田秀史・28 佐藤俊幸・30 鈴木和彦・9 水谷哲也・38 古谷哲也・48 石原加奈子・31 田中知己・37 福島隆治・35 西藤公司・51 大森啓太郎；25 山本欣郎・15 落合謙爾・24 山本健久・17 佐藤至・18 佐藤繁・41 大沼俊名・③ 一條俊浩・② 片山泰章・60 関まどか／5回）（共同・メディア） 獣医学博士の社会的使命について概説する。博士の学位を取得するにはどのような能力水準が要求されるのかを論じるとともに、動物基礎医学部門、獣医衛生科学分野、獣医臨床医学分野で取得した博士の社会における活躍と貢献、最新の研究動向について解説する。</p> <p>（11 渡辺 元・26 小山哲史・39 吉田敏則・4 白井淳資・7 藤川浩・36 林谷秀樹・10 李天成・8 町田登・32 田中綾・49 井手香織；16 木崎景一郎・19 佐藤洋・14 岡田啓司・13 宇塚雄次・47 山田美鈴・45 彦野弘一・46 福井大祐・58 小林沙織・62 井口愛子／5回）（共同・集中） 研究のデザインの基本を解説する。獣医学における新たな学問の発展と現代社会において解決が求められるテーマの設定方法を論じるとともに、研究のアウトラインの作成方法、作業仮説の設定法、実験のアプローチ法について解説する。また、研究のまとめ方や発展的実験の展開についても解説を加える。</p> <p>（3 渋谷淳・27 佐々木一昭・34 永岡謙太郎・5 竹原一明・33 谷口隆秀・50 大松勉・6 永田典代・1 打出毅・52 岸本海織・29 清水美希・55 佐々悠木子；21 古市達哉・① 村上賢二・12 板垣匡・20 高橋透・23 山崎真大・44 中牟田信明・④ 高橋正弘・59 佐々木淳／5回）（共同・集中） 研究プレゼンテーションについて解説する。プレゼンテーションの方法を口頭発表、ポスター発表に分け、それぞれの発表における資料作成方法及び留意点を解説する。また、発表を次の研究に活かす方策についても解説を加える。</p>	オムニバス方式・共同

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通基盤科目	東京農工大学 岩手大学	獣医学基盤講義B	<p>(概要) 自立した研究者としての意識を醸成するために、研究成果の考え方、研究経費、知的財産、産官学連携等について講義する。</p> <p>(オムニバス方式・共同/全15回)</p> <p>(2 柴田秀史・28 佐藤俊幸・30 鈴木和彦・9 水谷哲也・38 古谷哲也・48 石原加奈子・31 田中知己・37 福島隆治・35 西藤公司・51 大森啓太郎; 25 山本欣郎・15 落合謙爾・24 山本健久・17 佐藤至・18 佐藤繁・41 大沼俊名・③ 一條俊浩・② 片山泰章・60 関まどか/5回) (共同・メディア) 自立した研究者となるために必要な考えと方策を概説する。研究成果の発表の考え方と投稿論文の作成方法を示し、論文投稿から掲載に至るまでの留意点を解説する。さらに、研究経費と研究計画の考え方、研究資金の獲得手段について説明を加える。</p> <p>(11 渡辺 元・26 小山哲史・39 吉田敏則・4 白井淳資・7 藤川浩・36 林谷秀樹・10 李天成・8 町田登・32 田中綾・49 井手香織; 16 木崎景一郎・19 佐藤洋・14 岡田啓司・13 宇塚雄次・47 山田美鈴・45 彦野弘一・46 福井大祐・58 小林沙織・62 井口愛子/5回) (共同・集中) 研究の発展に関する考え方を概説する。自らの研究を深化させるためにどのように新たな研究を展開させるのかについて解説する。また、プロジェクト研究、共同研究に関する留意点や知的財産に関する留意点にも解説を加える。</p> <p>(3 渋谷淳・27 佐々木一昭・34 永岡謙太郎・5 竹原一明・33 谷口隆秀・50 大松勉・6 永田典代・1 打出毅・52 岸本海織・29 清水美希・55 佐々悠木子; 21 古市達哉・① 村上賢二・12 板垣匡・20 高橋透・23 山崎真大・44 中牟田信明・④ 高橋正弘・59 佐々木淳/5回) (共同・集中) 研究の社会還元の方法を概説する。行政、民間企業における博士研究者への期待を示したうえで産官学の連携研究の考え方を解説し、事業化に導くための研究開発のマネジメントについて説明を加える。また、研究成果の広報活動について解説する。</p>	オムニバス方式・共同

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通基盤科目	東京農工大学 岩手大学	研究デザイン演習	<p>(概要) 学生自身の博士課程における研究計画を主題とし、日本語及び英語による発表要旨の作成、発表ポスターの作成、口頭発表資料の作成を行い、実際に発表を实践させる。</p> <p>(オムニバス方式・共同/全15回)</p> <p>(2 柴田秀史・28 佐藤俊幸・30 鈴木和彦・9 水谷哲也・38 古谷哲也・48 石原加奈子・31 田中知己・37 福島隆治・35 西藤公司・51 大森啓太郎;25 山本欣郎・15 落合謙爾・24 山本健久・17 佐藤至・18 佐藤繁・41 大沼俊名・② 片山泰章・60 関まどか/3回) (共同・メディア) 各学生が持つ博士課程における研究計画を題材とし、個別に詳細を検討するとともに研究デザインを構築する演習を行う。</p> <p>(11 渡辺 元・26 小山哲史・39 吉田敏則・4 白井淳資・7 藤川浩・36 林谷秀樹・10 李天成・8 町田登・32 田中綾・49 井手香織;16 木崎景一郎・19 佐藤洋・14 岡田啓司・13 宇塚雄次・47 山田美鈴・45 彦野弘一・46 福井大祐・58 小林沙織・62 井口愛子/3回) (共同・メディア) 研究計画を提示するためのポスターレイアウトを構成し、発表ポスターを作成する演習を行う。また、示説方法に関する演習を行う。</p> <p>(3 渋谷淳・27 佐々木一昭・34 永岡謙太郎・5 竹原一明・33 谷口隆秀・50 大松勉・6 永田典代・1 打出毅・52 岸本海織・29 清水美希・55 佐々悠木子;21 古市達哉・① 村上賢二・12 板垣匡・20 高橋透・23 山崎真大・44 中牟田信明・59 佐々木淳/3回) (共同・メディア) 研究計画に関する口頭発表資料を構成し、口頭発表資料を作成する演習を行う。また、口頭発表に関する演習を行う。</p> <p>(全教員/6回) (共同・集中) 集中講義において、作成したポスターの発表、口頭発表を実施させ、発表内容の評価を行うとともに改良点について討議する。</p>	オムニバス方式・共同

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通基盤科目	東京農工大学 岩手大学	研究プレゼンテーション演習	<p>(概要) 学生自身の博士課程における研究の進捗状況発表を主題とし、日本語及び英語による発表要旨の作成、発表ポスターの作成、口頭発表資料の作成を行い、実際に発表を实践させる。</p> <p>(オムニバス方式・共同/全15回)</p> <p>(2 柴田秀史・28 佐藤俊幸・30 鈴木和彦・9 水谷哲也・38 古谷哲也・48 石原加奈子・31 田中知己・37 福島隆治・35 西藤公司・51 大森啓太郎;25 山本欣郎・15 落合謙爾・24 山本健久・17 佐藤至・18 佐藤繁・41 大沼俊名・② 片山泰章・60 関まどか/3回) (共同・メディア) 各学生が行っている自らの研究の進捗状況を題材とし、個別に詳細を検討するとともに研究デザインを構築する演習を行う。</p> <p>(11 渡辺 元・26 小山哲史・39 吉田敏則・4 白井淳資・7 藤川浩・36 林谷秀樹・10 李天成・8 町田登・32 田中綾・49 井手香織;16 木崎景一郎・19 佐藤洋・14 岡田啓司・13 宇塚雄次・47 山田美鈴・45 彦野弘一・46 福井大祐・58 小林沙織・62 井口愛子/3回) (共同・メディア) 研究進捗状況を提示するためのポスターレイアウトを構成し、発表ポスターを作成する演習を行う。また、示説方法に関する演習を行う。</p> <p>(3 渋谷淳・27 佐々木一昭・34 永岡謙太郎・5 竹原一明・33 谷口隆秀・50 大松勉・6 永田典代・1 打出毅・52 岸本海織・29 清水美希・55 佐々悠木子;21 古市達哉・① 村上賢二・12 板垣匡・20 高橋透・23 山崎真大・44 中牟田信明・59 佐々木淳/3回) (共同・メディア) 研究進捗状況に関する口頭発表資料を構成し、口頭発表資料を作成する演習を行う。また、口頭発表に関する演習を行う。</p> <p>(全教員/6回) (共同・集中) 集中講義において、作成したポスターの発表、口頭発表を実施させ、発表内容の評価を行うとともに改良点について討議する。</p>	オムニバス方式・共同
	東京農工大学	研究倫理 (東京農工大学)	<p>(概要) 獣医学研究を取り巻く倫理的問題と問題に対する対応のうち、特にコンプライアンス等の研究倫理に関する基本的問題、伴侶動物を使用した研究に関する問題の現状と解決方法を中心に講義する。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>第1回：研究倫理の基本 (伴侶動物) (2 柴田秀史/1回) 第2回：現代社会における科学技術 (11 渡辺 元/1回) 第3回：研究とコンプライアンス (3 渋谷淳/1回) 第4回：研究ノートとデータ管理 (9 水谷哲也・4 白井淳資/1回) (共同) 第5回：研究と動物福祉 (5 竹原一明・7 藤川浩/1回) (共同) 第6回：伴侶動物における倫理的問題 (8 町田登/1回) 第7回：被験者保護の基本 (1 打出毅/1回) 第8回：研究倫理の実践 (伴侶動物) (35 西藤公司/1回)</p>	オムニバス方式

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通基盤科目	岩手大学	研究倫理（岩手大学）	<p>（概要） 獣医学研究を取り巻く倫理的問題と問題に対する対応のうち、特に動物福祉等の動物実験に関する基本的な問題、実験動物・産業動物を使用した研究に関する問題の現状と解決方法を中心に講義する。</p> <p>（オムニバス方式／全8回）</p> <p>（21 古市達哉／3回） 実験動物・産業動物を用いた研究倫理の基本について概説し、動物実験の基本と動物福祉について詳細な解説を行う。</p> <p>（20 高橋透／3回） 農畜産業と科学技術、産業動物（牛、豚、鶏）における倫理的問題について説明し、実験動物・産業動物を用いた研究における倫理の実践について解説する。</p> <p>（58 小林沙織／2回） 産業動物（馬）における倫理的問題及び研究と知的財産権の関係について解説する。</p>	オムニバス方式
	東京農工大学 岩手大学	科学英語	<p>（概要） 国際的な研究活動の基盤のスキルとして英語を使う多くの機会を設け、各自の研究に関する英文レポート作成や、英語で研究者、科学者とのより円滑で効率的なコミュニケーションを可能にすることを目的とする。また、獣医学を取り巻く国際的な諸問題を題材として取り上げ、科学的な分析や問題解決のための研究提案について英語を用いてディスカッションする。</p> <p>（オムニバス／全15回）</p> <p>（①村上賢二、②片山泰章／5回） 第1回～第5回 1. 科学情報の収集 ・ 科学雑誌と文体 ・ 論文の検索 ・ 論文の構成と表現方法の理解</p> <p>（63 ONWONA-AGYEMAN SIAW／5回） 第6回～第10回 2. 論文作成における英作文 ・ 論文の内容構成の理解 ・ 国際的な諸問題を題材とした「モデル実験」に基づくレポート作成と研究提案 ・ 論文における倫理のおよび法的問題</p> <p>（①村上賢二、②片山泰章、63 ONWONA-AGYEMAN SIAW／5回） （共同） 第11回～第15回 3. 英語による研究発表 ・ 多文化/人種社会におけるコミュニケーション ・ 国際的によく使われる英語表現を組み込んだ発表資料の作成 ・ 英語による発表技法の理解と実践</p>	オムニバス方式・共同（一部）

科目区分		開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目	動物基礎医学講座科目	東京農工大学	動物基礎医学特論A (東京農工大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。主指導教員が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p>	
講座科目	動物基礎医学講座科目	東京農工大学	動物基礎医学特論B (東京農工大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに関連する講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。第1副指導教員(自大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	東京農工大学	動物基礎医学特論C (東京農工大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置し、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養うことを到達目標とする。第2副指導教員(相手大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p>	
講座科目	動物基礎医学講座科目 岩手大学	動物基礎医学特論A (岩手大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。主指導教員が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍</p> <p>(16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学</p> <p>(19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法</p> <p>(21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学</p> <p>(25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学</p> <p>(44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学</p> <p>(47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	岩手大学	動物基礎医学特論B (岩手大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに関連する講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。第1副指導教員(自大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりや深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 (16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 (19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法 (21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学 (25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学 (44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学 (47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	
講座科目	動物基礎医学講座科目	岩手大学 動物基礎医学特論C (岩手大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置し、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養うことを到達目標とする。第2副指導教員(相手大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりや深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 (16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 (19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法 (21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学 (25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学 (44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学 (47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
獣医衛生科学講座科目	東京農工大学	獣医衛生科学特論A (東京農工大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。主指導教員が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目 獣医衛生科学講座科目	東京農工大学	獣医衛生科学特論B (東京農工大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに関連する講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。第1副指導教員(自大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目 獣医衛生科学講座科目	東京農工大学	獣医衛生科学特論C (東京農工大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置し、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養うことを到達目標とする。第2副指導教員(相手大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 (5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 (6 永田典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症 (7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全 (9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症 (10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学 (33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断 (36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態 (38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御 (48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析 (50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p>	
	岩手大学	獣医衛生科学特論A (岩手大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。主指導教員が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 (17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染 (1) 村上 賢二 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防 (24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学 (45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目 獣医衛生科学講座科目	岩手大学	獣医衛生科学特論B (岩手大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに関連する講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。第1副指導教員(自大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 (17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染 ① 村上 賢二 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防 (24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学 (45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p>	
	岩手大学	獣医衛生科学特論C (岩手大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置し、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養うことを到達目標とする。第2副指導教員(相手大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 (17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染 ① 村上 賢二 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防 (24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学 (45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目 獣医臨床医科学講座科目	東京農工大学	獣医臨床医科学特論 A (東京農工大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。主指導教員が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン (8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化 (29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物 (31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜 (32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術 (35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素 (37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物 (49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境 (51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬 (52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	
	東京農工大学	獣医臨床医科学特論 B (東京農工大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに関連する講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。第1副指導教員(自大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン (8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化 (29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物 (31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜 (32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術 (35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素 (37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物 (49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境 (51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬 (52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目	東京農工大学	獣医臨床医科学特論C (東京農工大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置し、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養うことを到達目標とする。第2副指導教員(相手大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	
	岩手大学	獣医臨床医科学特論A (岩手大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。主指導教員が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線</p> <p>(14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性</p> <p>(18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病</p> <p>(20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防</p> <p>(23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病</p> <p>(2) 片山 泰章 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科</p> <p>(46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
講座科目 獣医臨床医科学講座科目	岩手大学	獣医臨床医科学特論 B (岩手大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマに関連する講義科目群として設置し、博士論文の作成を支援することを到達目標とする。第1副指導教員(自大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 (14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 (18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病 (20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防 (23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病 (2) 片山 泰章 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学 (46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p>	
	岩手大学	獣医臨床医科学特論 C (岩手大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門的知識を研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置し、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養うことを到達目標とする。第2副指導教員(相手大学)が講義により指導を行い、専門の研究分野について一定の広がりと深さを持つ知識と技術を教授する。授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 (14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 (18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病 (20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防 (23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病 (2) 片山 泰章 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学 (46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	東京農工大学	動物基礎医学特別演習A (東京農工大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶことを到達目標とする。各自の研究課題に関連した分野の学問的背景を理解し、現状分析、先行文献レビューができる。また、調査及び研究に基づき、データ解析、結果の解釈、考察を行うことができる。</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p>	
研究指導科目	東京農工大学	動物基礎医学特別演習B (東京農工大学)	<p>(概要) 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、第1副指導教員が履修者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	東京農工大学	動物基礎医学特別演習C (東京農工大学)	<p>(概要)</p> <p>獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、第2副指導教員が履修者の研究テーマとは直接の関連性はない実験上の知識の教授と助言を行い、研究テーマ以外の諸問題を分析、評価する能力を養う。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p>	
	岩手大学	動物基礎医学特別演習A (岩手大学)	<p>(概要)</p> <p>獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶことを到達目標とする。各自の研究課題に関連した分野の学問的背景を理解し、現状分析、先行文献レビューができる。また、調査及び研究に基づき、データ解析、結果の解釈、考察を行うことができる。</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍</p> <p>(16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学</p> <p>(19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法</p> <p>(21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学</p> <p>(25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学</p> <p>(44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学</p> <p>(47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	岩手大学	動物基礎医学特別演習B (岩手大学)	<p>(概要)</p> <p>獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、第1副指導教員が履修者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 (16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 (19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法 (21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学 (25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学 (44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学 (47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	
	岩手大学	動物基礎医学特別演習C (岩手大学)	<p>(概要)</p> <p>獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、第2副指導教員が履修者の研究テーマとは直接の関連性はない実験上の知識の教授と助言を行い、研究テーマ以外の諸問題を分析、評価する能力を養う。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 (16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 (19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法 (21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学 (25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学 (44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学 (47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	獣医衛生科学研究指導科目	東京農工大学	獣医衛生科学特別演習A（東京農工大学） （概要） 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶことを到達目標とする。各自の研究課題に関連した分野の学問的背景を理解し、現状分析、先行文献レビューができる。また、調査及び研究に基づき、データ解析、結果の解釈、考察を行うことができる。 （4 白井 淳資） 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 （5 竹原 一明） バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 （6 永田典代） 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症 （7 藤川 浩） 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全 （9 水谷 哲也） 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症 （10 李 天成） 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学 （33 谷口 隆秀） 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断 （36 林谷 秀樹） 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態 （38 古谷 哲也） 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御 （48 石原 加奈子） 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析 （50 大松 勉） 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	獣医衛生科学研究指導科目	東京農工大学 獣医衛生科学特別演習B (東京農工大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、第1副指導教員が履修者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	獣医衛生科学研究指導科目	東京農工大学 獣医衛生科学特別演習C (東京農工大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、第2副指導教員が履修者の研究テーマとは直接の関連性はない実験上の知識の教授と助言を行い、研究テーマ以外の諸問題を分析、評価する能力を養う。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	岩手大学	獣医衛生科学特別演習A (岩手大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶことを到達目標とする。各自の研究課題に関連した分野の学問的背景を理解し、現状分析、先行文献レビューができる。また、調査及び研究に基づき、データ解析、結果の解釈、考察を行うことができる。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 (17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染 ① 村上 賢二) 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防 (24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学 (45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p>	
	岩手大学	獣医衛生科学特別演習B (岩手大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、第1副指導教員が履修者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 (17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染 ① 村上 賢二) 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防 (24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学 (45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	岩手大学	獣医衛生科学特別演習C (岩手大学)	<p>(概要) 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、第2副指導教員が履修者の研究テーマとは直接の関連性はない実験上の知識の教授と助言を行い、研究テーマ以外の諸問題を分析、評価する能力を養う。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統</p> <p>(17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染</p> <p>(① 村上 賢二) 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防</p> <p>(24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学</p> <p>(45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p>	
獣医臨床医科学研究指導科目	東京農工大学	獣医臨床医科学特別演習A (東京農工大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶことを到達目標とする。各自の研究課題に関連した分野の学問的背景を理解し、現状分析、先行文献レビューができる。また、調査及び研究に基づき、データ解析、結果の解釈、考察を行うことができる。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	獣医臨床医科学研究指導科目	東京農工大学 獣医臨床医科学特別演習B (東京農工大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、第1副指導教員が履修者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	獣医臨床医科学研究指導科目	東京農工大学 獣医臨床医科学特別演習C (東京農工大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、第2副指導教員が履修者の研究テーマとは直接の関連性はない実験上の知識の教授と助言を行い、研究テーマ以外の諸問題を分析、評価する能力を養う。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	岩手大学	獣医臨床医科学特別演習A (岩手大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶことを到達目標とする。各自の研究課題に関連した分野の学問的背景を理解し、現状分析、先行文献レビューができる。また、調査及び研究に基づき、データ解析、結果の解釈、考察を行うことができる。</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 (14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 (18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病 (20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防 (23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病 (2) 片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学 (46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p>	
	岩手大学	獣医臨床医科学特別演習B (岩手大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、第1副指導教員が履修者の研究内容に応じて研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 (14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 (18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病 (20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防 (23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病 (2) 片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学 (46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	岩手大学	獣医臨床医科学特別演習C (岩手大学)	<p>(概要) 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、第2副指導教員が履修者の研究テーマとは直接の関連性はない実験上の知識の教授と助言を行い、研究テーマ以外の諸問題を分析、評価する能力を養う。履修者各自の研究課題に対して、論文作成上、必要とする実験的手法について指導し、履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線</p> <p>(14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性</p> <p>(18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病</p> <p>(20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防</p> <p>(23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病</p> <p>(2) 片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科</p> <p>(46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
獣医学学際科目	東京農工大学 岩手大学	学際領域特別講義	<p>(概要)</p> <p>両大学及び連携機関の教員による獣医学領域に関する視野の拡大を目標とした講義科目である。履修者の所属する講座だけでなく他講座における研究内容を学習し、広く獣医学並びに関連する科学分野の研究について学習する。このため、必要に応じてゲストスピーカーを迎え、最新のトピックスを講義してもらう。最新の幅広い研究知識を修得することを到達目標とする。</p> <p>(講義方式／全15回)</p> <p>1. 動物基礎医学学際領域特別講義 (東京農工大学：2 柴田秀史、11 渡辺 元、28 佐藤俊幸、34 永岡謙太郎、26 小山哲史、27 佐々木一昭、3 渋谷淳、30 鈴木和彦、39 吉田敏則；岩手大学：25 山本欣郎、16 木崎景一郎、44 中牟田信明、15 落合謙爾、19 佐藤洋、21 古市達哉、41 大沼俊名、47 山田美鈴、59 佐々木淳／5回)</p> <p>第1回 動物基礎医学における最新実験技術 第2回 動物基礎医学における最新の研究動向 第3回 動物基礎医学における注目の研究トピック 第4回 動物基礎医学における最新の研究報告 第5回 動物基礎医学におけるこれから注目される研究分野</p> <p>2. 獣医衛生科学学際領域特別講義 (東京農工大学：9 水谷哲也、38 古谷哲也、33 谷口隆秀、50 大松勉、4 白井淳資、5 竹原一明、55 佐々悠木子、7 藤川浩、36 林谷秀樹、10 李天成、6 永田典代、48 石原加奈子；岩手大学：① 村上賢二、12 板垣匡、17 佐藤至、45 彦野弘一、24 山本健久、60 関まどか／5回)</p> <p>第6回 獣医衛生科学における最新実験技術 第7回 獣医衛生科学における最新の研究動向 第8回 獣医衛生科学における注目の研究トピック 第9回 獣医衛生科学における最新の研究報告 第10回 獣医衛生科学におけるこれから注目される研究分野</p> <p>3. 獣医臨床医科学学際領域特別講義 (東京農工大学：31 田中知己、8 町田登、37 福島隆治、52 岸本海織、1 打出毅、35 西藤公司、32 田中綾、49 井手香織、29 清水美希、51 大森啓太郎；岩手大学：18 佐藤繁、14 岡田啓司、20 高橋透、13 宇塚雄次、23 山崎真大、② 片山泰章、③ 一條俊浩、④ 高橋正弘、46 福井大祐、58 小林紗織、62 井口愛子／5回)</p> <p>第11回 獣医臨床医科学における最新実験技術 第12回 獣医臨床医科学における最新の研究動向 第13回 獣医臨床医科学における注目の研究トピック 第14回 獣医臨床医科学における最新の研究報告 第15回 獣医臨床医科学におけるこれから注目される研究分野</p>	オムニバス方式・共同

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
獣医学学際科目	東京農工大学	国際感染症防疫学	<p>(概要) 東京農工大学国際家畜感染症防疫研究教育センター教員及び外部講師による国際感染症の防疫に関する先端的知識を学ぶ講義科目である。感染症に関するテーマを研究する学生だけでなく、基礎獣医学、あるいは、臨床獣医学を研究する学生も履修できる学際的な内容をカバーする。関連する諸分野を専門とする教員により講義を行い、最新の幅広い研究知識を修得することを到達目標とする。 (講義方式／全8回)</p> <p>(9 水谷哲也／6回) ・ 国際動物感染症 ・ 国際人獣共通感染症 ・ エキゾチックアニマルと感染症の関係 ・ 国際感染症予防における国際協調の役割 ・ 国際感染症流行時の対応について ・ 国際感染症と動物検疫</p> <p>(38 古谷哲也／1回) ・ 節足動物が媒介する国際感染症</p> <p>(50 大松勉／1回) ・ 野生動物と感染症の関係</p>	オムニバス方式
	東京農工大学	先進動物医療学	<p>(概要) 東京農工大学動物医療センターを兼務する共同獣医学専攻教員による高度先端獣医療並びに周辺医科学領域に関する学際的な講義科目である。伴侶動物に提供される先進医療を支える先端医療機器や医療画像診断技術、並びに移植医療、再生医療、遺伝子治療などの高度先端治療について、それぞれの関連分野を専門とする教員が教授する。 (講義方式／全8回)</p> <p>① 先進動物医療学総論 (8 町田 登／1回) ② 先進的放射線診断技術 (52 岸本海織／1回) ③ 次世代画像診断技術 (29 清水美希／1回) ④ 小動物病態ME解析学 (37 福島隆治／1回) ⑤ 最先端の心臓疾患治療デバイス (32 田中 綾／1回) ⑥ 分子診断と分子治療 (1 打出 毅／1回) ⑦ 脂肪幹細胞移植とがん治療用ウイルス (担当：51 大森啓太郎／1回) ⑧ 総合討論 (8 町田 登、52 岸本 海織、29 清水 美希、37 福島 隆治、32 田中 綾、1 打出 毅、51 大森啓太郎／1回)</p>	オムニバス方式

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
獣医学学際科目	岩手大学	食品衛生管理学	<p>(概要) 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育センター (FAMS) の教員による、食品の安全に関するより広範で深い知識を身に付けることを目的とした講義科目である。生産農場から食卓にあがるまでの全過程を対象に、危害因子やその制御方法と関連法規について詳細に学び、食の安全に従事する獣医師としての知識をより深いものとするを到達目標とする。 (オムニバス方式/全8回) (17 佐藤 至/各1回、計3回) 食品危害物質と食品衛生 食品関連法規 放射線汚染と食品衛生</p> <p>(①村上賢二/1回) 食品衛生行政</p> <p>(① 村上賢二/1回) 病原体汚染と食品衛生 (1)</p> <p>(19 佐藤 洋/1回) 化学物質汚染と食品衛生</p> <p>(③ 一條俊浩/1回) 農場の衛生管理</p> <p>(45 彦野弘一/1回) 病原体汚染と食品衛生 (2)</p>	オムニバス方式
	岩手大学	動物と人の共存学	<p>(概要) 人社会における産業動物、伴侶動物、展示動物、野生動物など動物の役割を学び、これらの動物が人間とどのように共存していけるかを学習する。動物あるいは人が疾患の時にお互いにどのように支え合っているか、また災害時などの非常事態や、街中や里山において動物と人がどのように共存していけるかを学習する。</p> <p>人と、牛、豚、鶏、山羊、羊などの家畜、犬、猫などの伴侶動物、動物園における展示動物や野生動物がどのように共存しているか、現在の状況と今後の課題を学ぶ。特に動物あるいは人が疾患になった場合のお互いの共存の方法や、災害時などの非常事態における動物たちと人の共存、さらには平常時における農村や里山での人と動物の共存について学び、問題点について考察する。受講状況とレポートなどにより総合的に評価する。 (オムニバス方式/全8回)</p> <p>(23 山崎真大/3回) ①疾患をもつ伴侶動物と飼い主の関係学 ②馬を利用したアニマルセラピー ③災害時の人と伴侶動物の避難生活、動物シェルターの実態 (14 岡田啓司/2回) ④疾患を持つ産業動物と飼い主の関係学 ⑤災害時の産業動物に対する処置の実態 (46 福井大祐/3回) ⑥市街地における野生動物と人の共存 ⑦里山における野生動物と人の共存 ⑧動物園動物と人の共存</p>	オムニバス方式

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	東京農工大学	動物基礎医学学外演習（理化学研究所）	理化学研究所において、3日間程度以上の研修を受け、実際の現場における業務、研究などを体験することで、最先端の繁殖学研究、エピジェネティクス、クローン技術の応用などについて学ぶ。現場での業務に参加することで現場におけるコミュニケーション力、技術、思考能力を研鑽するとともに、獣医学研究者としての責任を学ぶ。社会に出て即戦力かつリーダーとなる、獣医学を先導する高度な研究能力を持つ博士としての基盤を形成することを到達目標とする。研修参加の態度、研修後のレポートなどを基に主指導教員が総合的に評価する。 (担当：65 的場 章悟 理化学研究所)	
	東京農工大学	獣医衛生科学学外演習（国立感染症研究所）	国立感染症研究所において、3日間程度以上の研修を受け、実際の現場における業務、研究などを体験することで、食中毒や薬剤耐性菌に関連する疫学解析や分子疫学解析の知識や技術を学ぶ。現場での業務に参加することで現場におけるコミュニケーション力、技術、思考能力を研鑽するとともに、獣医学研究者としての責任を学ぶ。社会に出て即戦力かつリーダーとなる、獣医学を先導する高度な研究能力を持つ博士としての基盤を形成することを到達目標とする。研修参加の態度、研修後のレポートなどを基に主指導教員が総合的に評価する。 (担当：6 永田 典代、10 李 天成 国立感染症研究所)	共同
	東京農工大学	獣医衛生科学学外演習（医薬品食品衛生研究所）	医薬品食品衛生研究所において、3日間程度以上の研修を受け、実際の現場における業務、研究などを体験することで、最新の食中毒の検査技術、食品製造工程における衛生管理に関する研究を学ぶ。現場での業務に参加することで現場におけるコミュニケーション力、技術、思考能力を研鑽するとともに、獣医学研究者としての責任を学ぶ。社会に出て即戦力かつリーダーとなる、獣医学を先導する高度な研究能力を持つ博士としての基盤を形成することを到達目標とする。研修参加の態度、研修後のレポートなどを基に主指導教員が総合的に評価する。 (担当：64 岡田 由美子 医薬品食品衛生研究所)	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	岩手大学	獣医衛生科学学外演習（農研機構）	農研機構において、3日間程度以上の研修を受け、実際の現場における業務、研究などを経験することで、獣医衛生学、獣医公衆衛生学、及び獣医疫学の知識、技術の応用方法を学ぶ。現場での業務に参加することで現場におけるコミュニケーション力、技術、思考能力を研鑽するとともに、獣医学研究者としての責任を学ぶ。社会に出て即戦力かつリーダーとなる、獣医学を先導する高度な研究能力を持つ博士としての基盤を形成することを到達目標とする。研修参加の態度、研修後のレポートなどを基に主指導教員が総合的に評価する。 （担当：24 山本健久、農研機構）	
	岩手大学	獣医臨床医科学学外演習（日本中央競馬会）	日本中央競馬会において、3日間程度以上の研修を受け、実際の現場における業務、研究、診療活動などを経験することで、馬の臨床現場の現状と問題点、並びに馬を用いた研究に関する知識、技術を学ぶ。現場での業務に参加することで現場におけるコミュニケーション力、技術、思考能力を研鑽するとともに、獣医学研究者としての責任を学ぶ。社会に出て即戦力かつリーダーとなる、獣医学を先導する高度な研究能力を持つ博士としての基盤を形成することを到達目標とする。研修参加の態度、研修後のレポートなどを基に主指導教員が総合的に評価する。 （担当：66 笠嶋快周、日本中央競馬会）	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	東京農工大学	獣医学特別演習（東京農工大学）	<p>(概要) より先進的な研究を発案する力、及び新しい物を生み出すイノベーション力を養成するために、最先端の研究を行っている研究者による講演会に参加する。講演会は外部講師を招いて開催されるもの、他大学において開催される講演会・シンポジウム等、開催場所は問わない。日本及び世界を代表する研究者の講演を聴講することで、研究における発想、遂行の方法、結果の解釈等について学ぶとともに、発表方法についても学ぶことを到達目標とする。最低3つの講演会に参加し、レポートを作成したものを主指導教員が評価する。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田 典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			<p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	岩手大学	獣医学特別演習（岩手大学）	<p>(概要) より先進的な研究を発案する力、及び新しい物を生み出すイノベーション力を養成するために、最先端の研究を行っている研究者による講演会に参加する。講演会は外部講師を招いて開催されるもの、他大学において開催される講演会・シンポジウム等、開催場所は問わない。日本及び世界を代表する研究者の講演を聴講することで、研究における発想、遂行の方法、結果の解釈等について学ぶとともに、発表方法についても学ぶことを到達目標とする。最低3つの講演会に参加し、レポートを作成したものを主指導教員が評価する。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線</p> <p>(14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍</p> <p>(16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学</p> <p>(17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染</p> <p>(18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病</p> <p>(19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法</p> <p>(20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防</p> <p>(21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学</p> <p>(① 村上 賢二) 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防</p> <p>(23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病</p> <p>(24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学</p> <p>(25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学</p> <p>(② 片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学</p> <p>(44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学</p> <p>(45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p> <p>(46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p> <p>(47 山田 美鈴) 動物生命科学、総合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	東京農工大学	海外演習A(東京農工大学)	<p>(概要) 渡航期間が1週間程度の海外における国際学会に参加し、発表することを通じて、外国語によるプレゼンテーションを学び、国際的なコミュニケーション力を研鑽する。外国語によるプレゼンテーションの作成、実施及び質疑応答を通じて国際的に活躍する獣医師としての基盤を形成することを到達目標とする。プレゼンテーションの準備に関して抄録・スライド・発表原稿の内容に加え、発表内容の理解度、討論の学術的整合性を主指導教員が評価する。また、実際の海外における国際学会等での発表にあたっては、参加後のレポートを提出させる。以上のことを合わせて総合的に評価する。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田 典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p>	

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			<p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	東京農工大学	海外演習B (東京農工大学)	<p>(概要) 渡航期間が2週間程度を越える海外の研究機関での研修及び共同研究、調査、臨床実習を通じて、国際性を育成する。海外で研究活動や診療活動を行うことにより、国際的に通用する思考能力、実践力を身に付けることを到達目標とする。帰国後に実施報告のプレゼンテーションおよび成果報告書の提出を求め、研修、研究、診療活動へ参加することで得られた研究成果や研修成果を主指導教員が評価する。また、受け入れ先研究機関等の研究者にも評価を依頼し、これらを総合して評価する。</p> <p>(1 打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン</p> <p>(2 柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学</p> <p>(3 渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル</p> <p>(4 白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出</p> <p>(5 竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場</p> <p>(6 永田 典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症</p> <p>(7 藤川 浩) 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全</p> <p>(8 町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化</p> <p>(9 水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症</p> <p>(10 李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学</p> <p>(11 渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱</p> <p>(26 小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度</p> <p>(27 佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療</p> <p>(28 佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動</p> <p>(29 清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物</p> <p>(30 鈴木 和彦) 病理、疾患モデル、線維化、腎臓</p> <p>(31 田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜</p> <p>(32 田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術</p> <p>(33 谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断</p> <p>(34 永岡 謙太郎) ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			<p>(35 西藤 公司) 皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素</p> <p>(36 林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態</p> <p>(37 福島 隆治) 心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物</p> <p>(38 古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御</p> <p>(39 吉田 敏則) 脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん</p> <p>(48 石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析</p> <p>(49 井手 香織) 血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境</p> <p>(50 大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p> <p>(51 大森 啓太郎) 免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬</p> <p>(52 岸本 海織) 画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	岩手大学	海外演習A (岩手大学)	<p>(概要) 渡航期間が1週間程度の海外における国際学会に参加し、発表することを通じて、外国語によるプレゼンテーションを学び、国際的なコミュニケーション力を研鑽する。外国語によるプレゼンテーションの作成、実施及び質疑応答を通じて国際的に活躍する獣医師としての基盤を形成することを到達目標とする。プレゼンテーションの準備に関して抄録・スライド・発表原稿の内容に加え、発表内容の理解度、討論の学術的整合性を主指導教員が評価する。また、実際の海外における国際学会等での発表にあたっては、参加後のレポートを提出させる。以上のことを合わせて総合的に評価する。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線</p> <p>(14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍</p> <p>(16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学</p> <p>(17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染</p> <p>(18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病</p> <p>(19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法</p> <p>(20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防</p> <p>(21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学</p> <p>(① 村上 賢二) 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防</p> <p>(23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病</p> <p>(24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学</p> <p>(25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学</p> <p>(② 片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科</p> <p>(44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学</p> <p>(45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p> <p>(46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p> <p>(47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端実践科目	岩手大学	海外演習B (岩手大学)	<p>(概要) 渡航期間が2週間程度を越える海外の研究機関での研修及び共同研究、調査、臨床実習を通じて、国際性を育成する。海外で研究活動や診療活動を行うことにより、国際的に通用する思考能力、実践力を身に付けることを到達目標とする。帰国後に実施報告のプレゼンテーションおよび成果報告書の提出を求め、研修、研究、診療活動へ参加することで得られた研究成果や研修成果を主指導教員が評価する。また、受け入れ先研究機関等の研究者にも評価を依頼し、これらを総合して評価する。</p> <p>(12 板垣 匡) 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統</p> <p>(13 宇塚 雄次) 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線</p> <p>(14 岡田 啓司) 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性</p> <p>(15 落合 謙爾) 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍</p> <p>(16 木崎 景一郎) 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学</p> <p>(17 佐藤 至) 環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染</p> <p>(18 佐藤 繁) 動物生命科学、疾病予防・制御、代謝病</p> <p>(19 佐藤 洋) 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法</p> <p>(20 高橋 透) 繁殖障害の診断・治療・予防</p> <p>(21 古市 達哉) 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学</p> <p>① 村上 賢二) 微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防</p> <p>(23 山崎 真大) 小動物内科学、獣医血液病学、原虫病</p> <p>(24 山本 健久) 獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学</p> <p>(25 山本 欣郎) 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学</p> <p>② 片山 泰章) 獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学</p> <p>(44 中牟田 信明) 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学</p> <p>(45 彦野 弘一) 病原微生物、防疫、疾病予防・制御</p> <p>(46 福井 大祐) 動物生命科学、獣医外科学、動物園動物医学、野生動物医学、保全医学</p> <p>(47 山田 美鈴) 動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構</p>	